

暮 ら し づ く り

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、 黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、 安芸津 23.3人/ha * 住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、 黒瀬 現状維持、河内 現状維持、 安芸津 現状維持 * 住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 * 累計実績値	150件 * 累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 良好な市街地形成の推進	主管部局・所属	都市部 都市計画課
関係部局・所属	都市部 都市整備課	都市部	区画整理課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	都市の成長が持続され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、各拠点地区の特性に応じて都市機能を集積するとともに、安全・安心な都市環境の形成により、良好な市街地の形成を図る。	現状	狭隘な道路や無秩序な開発など、安全・安心な都市環境が形成されていない。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市街地の防災・減災機能を向上させるインフラの整備が不十分		JR駅周辺のまちづくり		高	1
安全・安心な憩いの場が不足している		安全・安心な憩いの場となる公園づくり		中	2
無秩序な宅地化が進展している		拠点地区周辺の市街地整備の取組み		低	3
市街地において必要な生活機能の集約が図られていない		まちづくりに関する総合的な計画策定		低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 市街地整備事業区域内人口(西条第二地区内の人口)	8,259 (H30)	上段: 目標値 中段: 実績値 下段: 達成率	10,541	11,000	11,000	11,000 (R6)	人
(4) 各拠点地区周辺の人口(合計)	36,696 (H30)		39,532	40,124	40,725	43,870 (R12)	人
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度		1,546,583				
		724,276				
R6年度		2,070,878				
		813,802				

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	① 良好な市街地形成の推進

事業の概要					
戦略	1	J R 駅周辺のまちづくり	予算	1,243,884 千円	前年度 1,251,618 千円
事務事業	1-1	八本松駅前土地区画整理事業【特会】	予算	690,844 千円	前年度 808,720 千円

内容

1-1_八本松駅前土地区画整理の推進

八本松駅周辺の狭隘な幹線道路、生活道路や住環境を一体的に整備し、良好な都市環境を形成するため、土地区画整理事業による市街地整備を行う。

施行面積	10.6ha
総事業費	7,512 百万円
平均減歩率	34.67%
保留地面積	3,647.26m ²

- ① 物件移転補償・調査等 (479,387 千円 (前年度 438,400 千円))
土地区画整理事業の移転計画に則り、移転が必要となる建物等の補償や調査等を行う。
- ② 造成工事 (203,772 千円 (前年度 295,000 千円))
土地区画整理事業の移転計画に則り、設計および造成工事を行う。

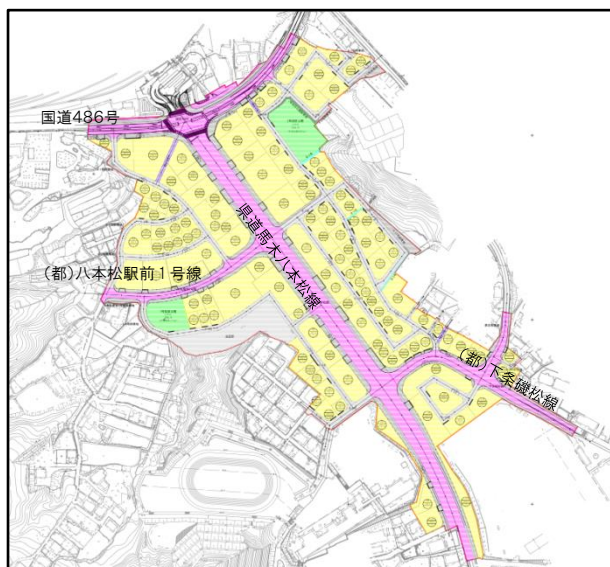
【活動指標】

土地区画整理事業 進捗率 47% (事業費ベース)

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要			補償			
				工事		
						換地計画・換地処分

■事業概要図



事業の概要						
戦略	1	J R 駅周辺のまちづくり	予算	1,243,884 千円	前年度	1,251,618 千円
事務事業	1-2	八本松駅前土地区画整理 関連公共事業	予算	439,002 千円	前年度	243,360 千円

内容

1-2_八本松駅前土地区画整理に関する公共施設の整備

土地区画整理事業と関連し、地区内の雨水排水施設や公園等を整備することで、良好な住環境の形成を図る。

- ① 雨水管渠整備 (359,900 千円 (前年度 141,000 千円))
土地区画整理事業に関連する雨水管渠の整備等を行う。
- ② 污水管渠整備 (3,328 千円 (前年度 80,000 千円))
土地区画整理事業に関連する污水管渠の整備等を行う。
- ③ 上水道整備 (75,314 千円 (前年度 0 千円))
土地区画整理事業に伴って実施する上水道工事費を負担する。

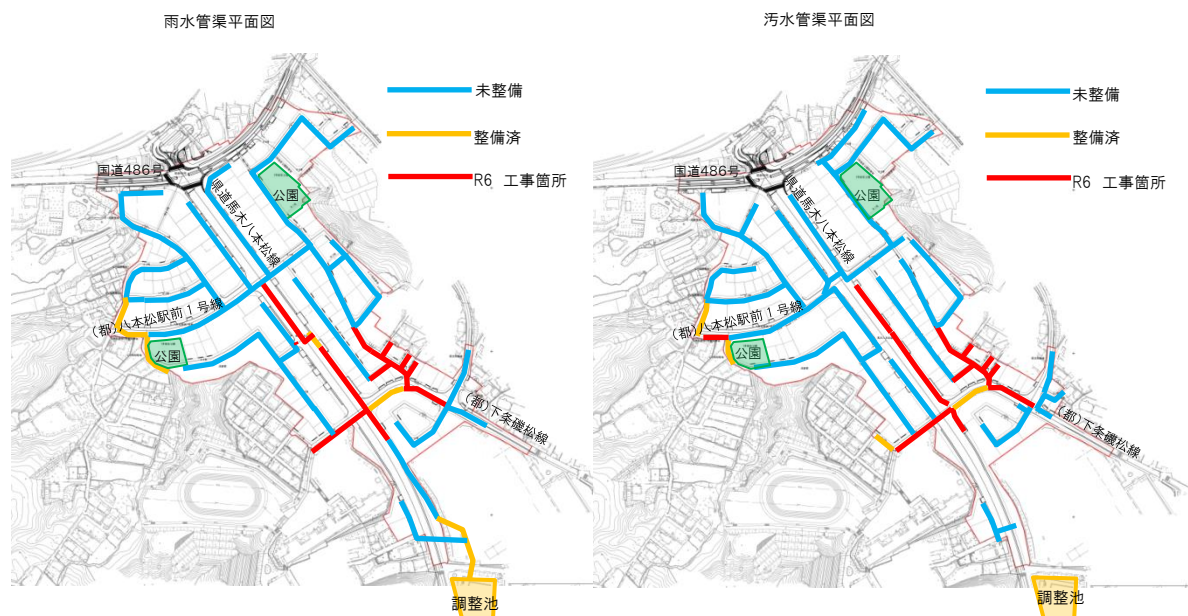
【活動指標】

- 雨水管渠整備率 25% (事業費ベース)
- 污水管渠整備率 9% (事業費ベース)
- 上水道整備率 18% (事業費ベース)

■ 事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要					工事 (雨水管渠等)	→
					工事 (污水管渠等)	→
					工事 (上水道)	→

■ 事業概要図



事業の概要						
戦略	1	JR 駅周辺のまちづくり	予算	1,243,884 千円	前年度	1,251,618 千円
事務事業	1-3	八本松駅前地区計画事業	予算	114,038 千円	前年度	199,538 千円

内容

1-3_八本松駅周辺の公共施設の整備

土地区画整理事業区域の西側などで幹線道路等社会資本の整備を行うとともに、地区計画による民間活力を活かしたまちづくりを進めることで、隣接する土地区画整理事業と併せ、より魅力的な市街地の形成を図る。

- ① 八本松駅前1号線道路改良（83,500 千円（前年度 151,000 千円））
八本松駅前1号線の道路改良工事・用地取得を行う。
- ② 八本松駅前交差点周辺施設設計（30,000 千円（前年度 33,000 千円））
八本松駅前交差点周辺において駐輪場等の設計を行う。

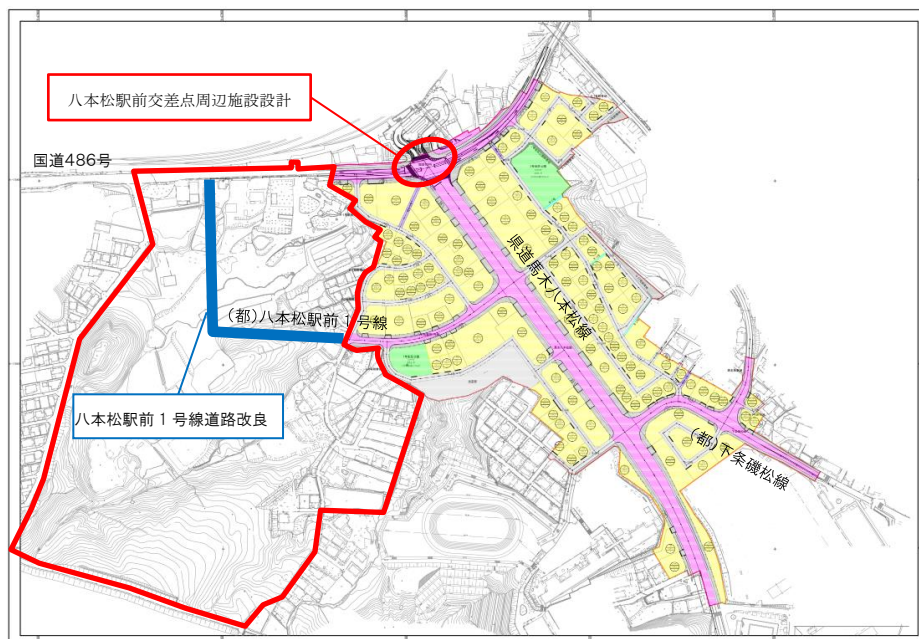
【活動指標】

八本松駅前1号線整備率 79%（事業費ベース）

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業概要				工事		
				(八本松駅前1号線)		
				八本松駅前交差点周辺施設設計		

■事業概要図



事業の概要					
戦略	2	安全安心な憩いの場となる公園づくり	予算	636,128 千円	前年度 180,600 千円
事務事業	2-1	公園整備事業	予算	636,128 千円	前年度 180,600 千円

内容

2-1_都市公園等の整備

安全で快適な公園づくりを行うことで良好な都市環境の形成を図る。

① 東広島運動公園の整備等 (537,600 千円(前年度 147,000 千円))

心の潤いや安らぎを与える休養・休息の場、スポーツやレクリエーション活動により健康で健全な育成の場として、また災害時における避難場所としての効果や機能を有する東広島運動公園の整備を行う。

ア 東広島運動公園の整備 (うち 170,000 千円)

令和3～7年度で、第2多目的グラウンド、グラウンドゴルフ場、フットサルコートを整備する。

イ 東広島運動体育館第1期改修 (うち 355,000 千円)

令和6年度から令和15年度までの長寿命化計画に基づき、東広島運動公園体育館の第1期改修を行う。

ウ 東広島運動公園施設配置検討業務(うち 12,600 千円)

東広島運動公園内の施設の有効活用、公園利用者数の増に向け、新たな施設の設置を含め施設配置の検討及び設計を行う。

【活動指標】ア 第2多目的グラウンド整備 進捗率 85.5%(事業費ベース)

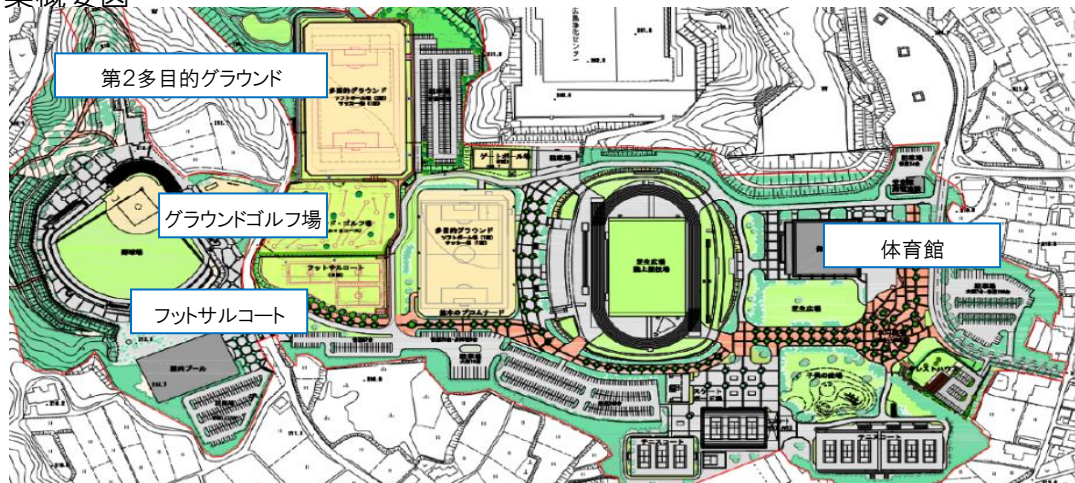
イ 体育館第1期改修 進捗率 21.5%(事業費ベース)

ウ 検討完了 進捗率 100%

■事業スケジュール

事業箇所	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
第2多目的グラウンド	造成		→				→
グラウンドゴルフ場			→			R5.7 供用開始	
フットサルコート				→		→	
照明施設整備							→
体育館改修						→	

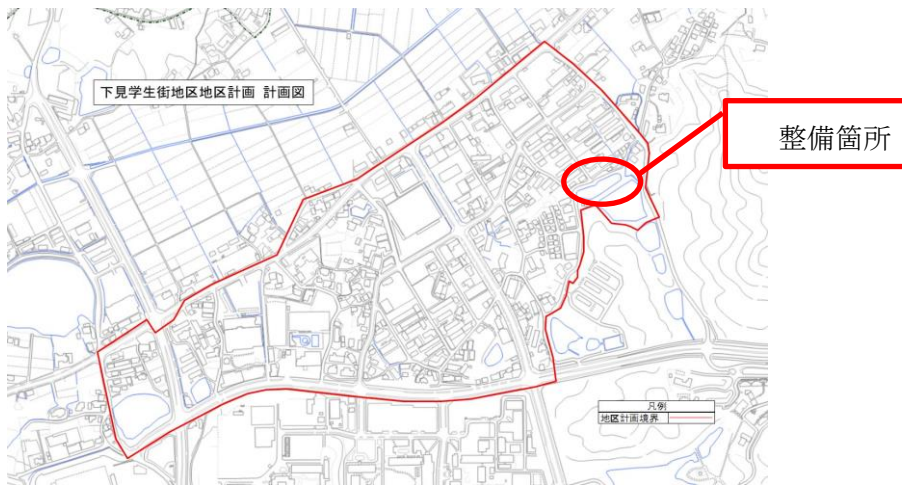
■事業概要図



事業の概要

- ② 都市公園施設等の更新（40,600 千円(前年度 5,500 千円)）
長寿命化計画に基づき、市内都市公園の遊具等公園施設の更新を行う。
【活動指標】 R2～R6 の施設更新 100%(事業費ベース)
- ③ 下見学生街地区公園の設計（13,000 千円(前年度 12,500 千円)）
下見学生街地区計画で位置付けられている公園整備を行うため詳細な設計を行う。
【活動指標】 詳細設計 100%

■事業概要図



- 【新】④ 正福寺山公園調査業務等(44,600 千円)
安芸津町の観光名所である正福寺山公園の現状を把握するための調査等を行う。
【活動指標】 現況調査 100%



事業の概要				
戦略	3	拠点地区周辺の市街地整備の取組み	予算 157,720 千円	前年度 79,180 千円
事務事業	3-1	西条第二地区地区計画整備事業	予算 157,720 千円	前年度 79,180 千円
内容				

3-1_西条第二地区の整備

西条中心部に近接する西条第二地区において、良好な都市環境を形成するため、地区計画道路を整備する。

① 地区計画道路の整備 (157,000 千円 (前年度 79,180 千円))

西条第二地区内の地区計画道路 27 路線を整備し、狭隘な道路の解消、安心・安全な交通網の整備と良好な居住環境の形成を図る。

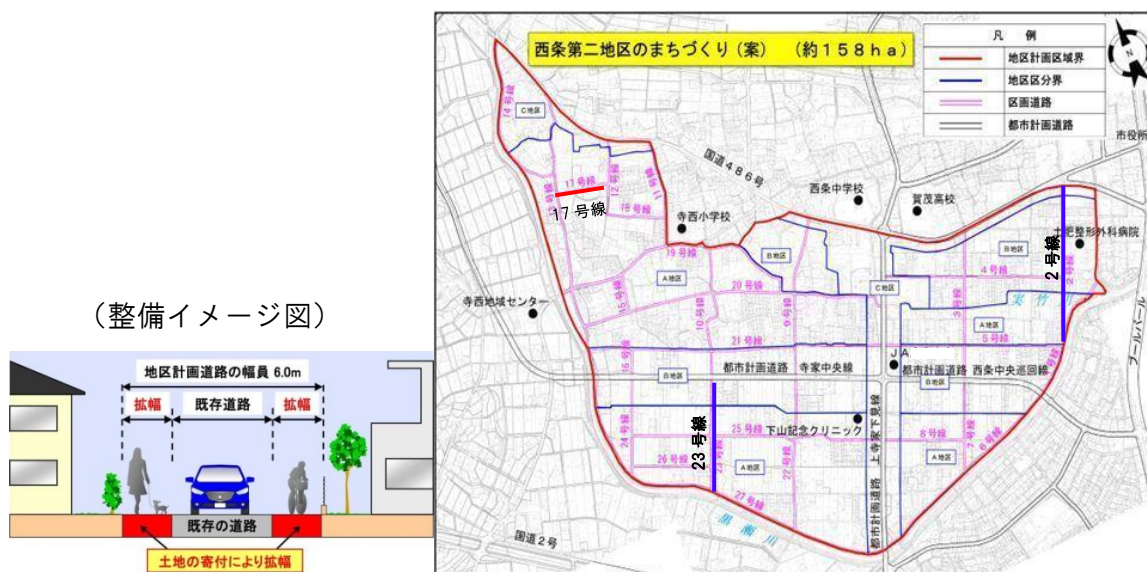
【活動指標】 道路改良 3 路線 進捗率 37% (事業費ベース)

■事業スケジュール

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
西条第二地区 地区計画道路	27 路線					
					3 路線 2号線・17号線・23号線	

17号線(完了) 2号線・23号線(継続)

■事業概要図



事業の概要				
戦略	4	まちづくりに関する総合的な計画策定	予算 33,146 千円	前年度 35,185 千円
事務事業	4-1	都市計画推進事業	予算 33,146 千円	前年度 35,185 千円
内容				
<p>4-1_都市計画の推進</p> <p>① 都市計画事業等の取組み（23,578 千円（前年度 27,185 千円）） 健康で文化的な活力ある地域づくりのため、社会経済情勢の変化を踏まえた土地利用・都市計画道路網の調査検討や都市計画審議会の開催など、都市計画行政の関連事務を実施する。</p> <p>② 逆線引きの取組み（8,000 千円（前年度 8,000 千円）） 度重なる豪雨災害により甚大な被害が発生していることから、災害リスクの高い区域における都市的土地利用を抑制するため、市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域へ編入する「逆線引き」を進めていく。 なお、逆線引きの実施については、市街化区域縁辺部かつ建築物がない箇所から段階的に進める。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案についての住民説明会の開催（令和6年4月中旬） ・ホームページ等での素案の閲覧（令和6年4月中旬～5月上旬） ・住民に意見を伺う公聴会の開催（令和6年6月上旬） ・国等の関係機関との協議（令和6年7月～10月頃） ・法定図書である総括図、計画図等の作成（令和6年7月～11月頃） ・住民に周知を図るための変更案の縦覧（令和6年12月頃） ・区域区分変更を審議するための都市計画審議会の開催（令和7年1月頃） ・区域区分変更の告示（令和7年3月頃） <p>【活動指標】 逆線引きの先行的実施箇所数：31 箇所</p>				

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha, 黒瀬 48.7人/ha,河内 16.2人/ha, 安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha, 黒瀬 現状維持,河内 現状維持, 安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 住環境の整備・保全	主管部局・所属	都市部	住宅課
関係部局・所属	地域振興部	地域づくり推進課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全・安心に暮らせる良好な住環境の形成	現状	市内3,947件の空き家のうち、694件が老朽空き家となっている。 市営住宅963戸のうち、382戸が耐用年数を超えている。	
課題	管理不全空き家の増加は、安全性・公衆衛生・景観の悪化等、生活環境に影響を及ぼす可能性がある。 老朽化していく市営住宅を適切に維持管理していく必要がある。	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		安全安心な住環境の実現	高	1
		適正な市営住宅ストックの実現	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 空き家バンク登録件数の増加(累計)	14 (H29)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	130	150	261	150 (R6)	件
(4)	()					()	
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R 年度	130,867				
	5 年度	37,293				
	R 年度	274,803				
	6 年度	41,919				

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	② 住環境の整備・保全

事業の概要						
戦略	1	安全安心な住環境の実現	予算	80,862 千円	前年度	51,461 千円
事務事業	1-1	空き家対策事業	予算	36,795 千円	前年度	24,789 千円
内容						

1-1_空き家対策の推進

空き家の増加を抑制し、管理不全の空き家を減少させるため、空き家の状態に応じ、総合的な空き家対策を推進する。

空き家数	3,947 軒	(令和 3 年度調査)
空き家バンク登録数	157 件	(令和 5 年 10 月末時)

① 空き家の利活用の推進 (22,560 千円)

ア 補助金の助成による空き家の利用活用推進

- (ア) 相続登記に係る費用の助成 (見込数 10 件、補助率 1/3、上限 10 万円)
- (イ) 改修費用の助成 (見込数 15 件、補助率 1/3、上限 50 万円)
- (ウ) 人口減少地域における改修費用の助成 ((イ)の補助額に 30 万円を限度に上乗せ 見込数 10 件)
- (エ) 空き家に残った家財道具の処分費の助成 (見込数 15 件、建物の面積に応じて補助金額 10~15 万円まで)
- (オ) 地域の交流の場など地域活性化に寄与する空き家利活用のための取得・改修費用の助成
(見込数 2 件、国庫補助、補助率 2/3、上限 300 万円)

イ 空き家バンクの機能強化

- 【新】 (ア) 物件整理及び空き家バンクへの登録支援 (うち 360 千円)
- 【新】 (イ) 成約報奨金制度による空き家の流通の活性化 (うち 1,500 千円)
- 【拡】 (ウ) 空き家の利活用ニーズの情報発信強化

ウ その他の取組み

- 【新】 (ア) 所有者不明等の空き家対策の強化 (うち 1,100 千円)
- (イ) FMラジオ等のメディアの活用や定住サポートセンターとの連携による補助制度等の情報発信



改修前



改修後



改修後

< 空家対策事業費補助金を活用した改修事例 >

【活動指標】 空き家バンク登録件数：40 件、成約件数：30 件

事業の概要

② 空き家の発生抑制、適正管理、除却等の推進（10,000千円）

補助金の助成により空き家の除却を推進する。

ア 老朽空家の解体費用の助成（見込数20件、補助率1/3、上限50万円）

イ 啓発用チラシの送付等による空き家の適正管理、除却等の促進

【新】ウ 空き家バンク事前登録制度の創設による空き家になる前からの対策強化



※出典：国土交通省HPより <老朽危険空家事例>

※出典：京都市HPより

【活動指標】 老朽空き家の除却件数：20件

事業の概要				
戦略	1	安全安心な住環境の実現	予算 80,862 千円	前年度 51,461 千円
事務事業	1-2	住宅指導事務	予算 44,067 千円	前年度 26,672 千円
内容				
<p>1-2_住宅の安全性などの質の向上の推進</p> <p>安全・安心で、良好な住環境の確保を図るための住宅施策を実施する。</p> <p>① 民間木造住宅の安全性の向上（42,600 千円） [社会資本整備総合交付金]</p> <p>ア 耐震診断の実施（うち 3,300 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断（見込数 15 件、自己負担金 1 万円） <p>【拡】イ 耐震改修等に係る費用の助成（うち 4,000 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修（見込数 3 件 補助率：対象工事費の 80%、上限 100 万円） ・除却（見込数 2 件 補助率：対象工事費の 1/3、上限 50 万円） <p>【拡】ウ がけ地近接危険住宅の移転費用の助成（うち 35,300 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体・除却 上限：住宅局標準建設費等通知に定められた除却工事費（見込数 4 件） ・移転費 上限 975 千円/件（見込数 4 件） ・借入金利子相当 上限 7,318 千円/件（見込数 1 件） ・移転促進のための助成制度 上限 2,000 千円/件（見込数 4 件） <p>【拡】② 住宅に関する情報の発信（342 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断支援の周知 ・耐震改修等補助の周知 				

事業の概要				
戦略	2	適切な市営住宅ストックの実現	予算 193,941 千円	前年度 79,406 千円
事務事業	2-1	市営住宅建設事業	予算 193,941 千円	前年度 79,406 千円
内容				

2-1_市営住宅ストックの適切な管理

長寿命化計画に基づき住宅改善・長寿命化工事等を実施する。

- ① 市営住宅の予防保全（188,300 千円）[社会資本整備総合交付金]
 - ア 長寿命化改修工事のための設計（市営薬師丸団地 24 戸）
 - イ 長寿命化改修工事（市営寺西住宅 3 棟 48 戸）



(改修前)

<老朽市営住宅事例>

(改修後)

【活動指標】 市営寺西住宅の改修 3 棟 48 戸

- ② 住環境悪化の抑制や防犯・防火等の向上（3,200 千円）
 - ア 老朽化した市営住宅の解体（市営孤老向住宅 1 棟 3 戸）



(解体前)

<老朽市営住宅事例>

(解体後)

【活動指標】 市営孤老向住宅の除却 1 棟 3 戸

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生活交通ネットワークの充実	主管部局・所属	地域振興部 地域政策課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されている	現状	地域公共交通に対する満足度が低迷している	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	地域公共交通が導入されているが利用率が低迷 地域公共交通が導入されていない空白地が存在	地域運行主体を明確にした 持続可能な移動手段の導入・維持・転換	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率			単位
			R5	R6	R7(参考値)	
(7) 地域公共交通の展開数	4 (H30)		7	7	7	地域
(4)	()	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率			()	
(ウ)	()				()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 5 年度			105,076			
			67,441			
R 6 年度			96,818			
			61,049			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	① 生活交通ネットワークの充実

事業の概要			
戦略	1 地域運行主体を明確にした持続可能な移動手段の導入・維持・転換	予算 96,818 千円	前年度 105,076 千円
事務事業	1-1 地域公共交通対策事業	予算 96,818 千円	前年度 105,076 千円

内容

1-1_地域公共交通の取組み

① コミュニティバス等の運行 (87,320 千円 (前年度 73,319 千円))

ア コミュニティバス等の運行管理・支援

(7) 豊栄そよかぜ号、安芸津海風バス、河内あゆピチふれあい号の運行管理 (うち 45,823 千円)

名称	運行開始日	運行概要
豊栄そよかぜ号	H21. 2. 1	5 路線 23 系統、週 2 日、1 日 4~8 便
安芸津海風バス	H21. 4. 1	3 路線 6 系統、週 2・4 日、1 日 4 便
河内あゆピチふれあい号	H22. 11. 1	1 路線 5 系統、週 2 日 (一部月~金)、1 日 4~7 便

(イ) 地域が主体で運行する黒瀬さくらバス、入野デマンド交通、おまるめ山バス、志和ホテル交通の運行支援 (うち 41, 497 千円)

名称	運行開始日	運行主体	運行概要
黒瀬さくらバス	H26. 6. 23	黒瀬さくらバス運行協議会	6 路線 6 系統、週 1~2 日、1 日 4 便
入野デマンド交通	R1. 11. 11	入野自治組織篁の郷	週 6 日、最大 10 便/日
おまるめ山バス	R5. 10. 2	小谷小学校区おまるめ山バス運営協議会	5 路線 6 系統、週 3 日、1 日 6~8 便
志和ホテル交通	R6. 3. 4 (予定)	志和町地域交通運行協議会	週 2 日、最大 5 便/日

【活動指標】

・R 6 年度 年間乗客数 27, 001 人 (R 4 年度相当+新規運行利用想定分)

事業の概要

- ② 交通空白地の解消に向けた取組み (8,470 千円 (前年度 30,813 千円))
 ア 地域が主体となった公共交通の実証運行への支援 (モビリティ・マネジメントの推進) (うち 8,196 千円)

「志和地域」及び「小谷地域」において、各地域で行われる実証運行への伴走支援 (本格運行に向けた運行改善) を行う。

モビリティ・マネジメント
 過度な自動車利用から、公共交通・自転車等を適切に利用する方向に自発的な変化を促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。



- ③ 地域公共交通会議の運営 (1,028 千円 (前年度 944 千円))
 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく地域公共交通会議の運営事務を行う。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 市道、街路、国県道の整備・保全	主管部局・所属	建設部 道路建設課
関係部局・所属	建設部	道路建設課	建設部 維持課
	建設部	技術企画課	都市部 都市計画課
	都市部	都市整備課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域の实情に合わせた道路交通網の構築や、道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図る。	現状	生活に身近な道路交通網の構築が求められている。また、道路環境が十分に整っていない箇所がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	橋梁等道路施設の長寿命化		高	1
市街地内の良好な道路の骨格が十分でない。	都市計画道路の整備		高	2
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	市道、その他市管理道路及び県道維持受託路線の維持修繕		中	3
国、県道を補完する道路網の構築が十分でない。安心・安全な自転車通行空間が十分に確保されていない。	都市計画道路以外の幹線市道の整備		中	4
地域生活に必要な国、県道の整備が十分でない。	県が整備する道路事業の促進		低	5
安全性や利便性を確保する生活に身近な道路が十分に整備されていない。	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備		低	6

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 道路橋の補修数	0 (R2)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	27	13	13	131 (R8)	橋
(4) 街路整備事業の進捗率(事業費ベース)	56 (R3)		75	81		100 (R11)	%
(7) 幹線・生活市道整備事業の執行率	45 (R3)		100	100	100	100 (R7)	%
(E) 道路維持修繕費執行率	90 (R3)		100	100	100	100 (R7)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5年度	4,038,569				
	6年度	2,185,501				
	5年度	4,061,123				
	6年度	1,917,212				

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	② 市道、街路、国県道の整備・保全

事業の概要				
戦略	1 橋梁等道路施設の長寿命化	予算	415,753 千円	前年度 812,836 千円
事務事業	1-1 橋梁長期保全事業	予算	415,753 千円	前年度 812,836 千円

内容

1-1_橋梁等道路施設の長寿命化

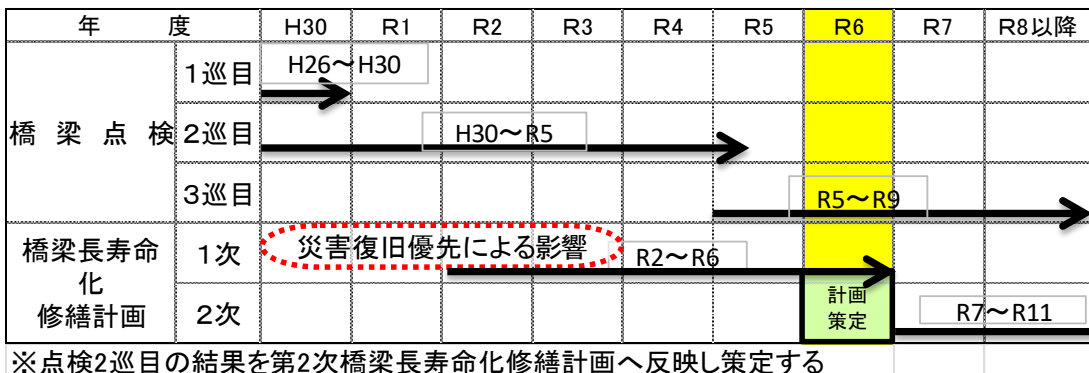
橋梁について、長寿命化を図るとともに定期点検を行う。

- ① 道路（市道）橋の点検（122,000 千円（前年度 133,600 千円））
 - ア 橋梁定期点検 260 橋
- ② 道路橋補修設計（67,000 千円（前年度 0 千円））
 - ア 橋梁補修設計 10 橋
- ③ 道路橋長寿命化修繕計画策定（16,000 千円（前年度 16,000 千円））
 - ア 橋梁長寿命化修繕計画策定業務
（（仮称）社会資本未来プランの作成に向けた橋梁部門の計画）
- ④ 道路（市道）橋補修（204,100 千円（前年度 655,200 千円））
 - ア 補修工事 10 橋
 - イ 小規模橋梁補修業務 10 橋
- ⑤ アセットマネジメントシステム利用料等（6,653 千円（前年度 8,036 千円））

【活動指標】

進捗率（第1次橋梁長寿命化修繕計画） 65.3%

■事業スケジュール



事業の概要						
戦略	2	都市計画道路の整備	予算	756,068 千円	前年度	572,867 千円
事務事業	2-1	街路整備事業	予算	756,068 千円	前年度	572,867 千円

内容

2-1_都市計画道路の整備

都市の骨格となる道路ネットワークの形成に向けた都市計画道路の整備を行う。

- ① 都市計画道路の整備（753,761 千円（前年度 572,867 千円））
 - ア 西条中央巡回線（寺家工区）[事業延長 580m、幅員 17m]
(うち 25,200 千円)
 - イ 吉行泉線（2 工区）[事業延長 460m、幅員 14m]（うち 85,395 千円）
 - ウ 丸山檜原線 [事業延長 760m、幅員 16m]（うち 116,200 千円）
 - エ 寺家中央線（1 工区）[事業延長 578m、幅員 17m]（うち 115,296 千円）
 - オ 寺家中央線（2 工区）[事業延長 557m、幅員 17m]（うち 216,100 千円）
 - カ 中島線 [事業延長 354m、幅員 9.25m]（うち 195,570 千円）

【活動指標】

路線名	内容	進捗率(事業費ベース)
西条中央巡回線 (寺家工区)	道路改良	98%
吉行泉線 (2 工区)	道路改良 文化財調査	91%
丸山檜原線	道路改良	100%
寺家中央線 (1 工区)	道路改良 用地取得、物件移転補償	95%
寺家中央線 (2 工区)	用地測量、補償調査 用地取得、物件移転補償	14%
中島線	道路改良 用地取得	98%

■事業スケジュール

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
西条中央巡回線 (寺家工区)				道路改良					
吉行泉線 (2 工区)				道路改良 文化財調査					
丸山檜原線				道路改良					
寺家中央線 (1 工区)				道路改良 用地取得、物件移転補償					
寺家中央線 (2 工区)		事業認可取得		用地測量、補償調査 用地取得、物件移転補償					
中島線				道路改良 用地取得					

事業の概要					
戦略	3	市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算 千円	1,792,530 前年度 千円	1,543,403 前年度 千円
事務事業	3-1	道路維持修繕事業	予算 千円	1,617,899 前年度 千円	1,370,385 前年度 千円
内容					
3-1_市道、その他の市管理道路の維持修繕					
① 道路の維持修繕（1,036,237 千円（前年度 1,052,514 千円））					
ア 年間委託による維持修繕：19 地区（うち 511,380 千円 （前年度 508,000 千円））					
イ 維持修繕工事（うち 216,713 千円（前年度 214,990 千円）） （緊急自然災害防止対策事業債等を活用して実施する。）					
ウ 委託による街路樹の育成管理：4 件（うち 100,000 千円 （前年度 100,000 千円））					
エ 委託による除草伐木（うち 165,829 千円（前年度 132,511 千円））					
オ 測量設計等業務（うち 37,715 千円（前年度 92,413 千円））					
カ 補償業務（うち 600 千円（前年度 4,600 千円））					
キ 用地買収費（うち 4,000 千円（前年度 0 円））					
② 舗装の修繕（317,550 千円（前年度 96,090 千円）） （公共施設等適正管理推進事業債等を活用して実施する。）					
③ 交通安全施設整備工事（169,978 千円（前年度 125,977 千円））					
④ 道路維持管理作業報償金（23,043 千円（前年度 23,043 千円））					
⑤ 維持管理作業用原材料費等（71,091 千円（前年度 72,761 千円））					
⑥ 維持修繕方針の策定 （（仮称）社会資本未来プランの作成に向けた維持部門の方針）					
⑦ 舗装維持修繕計画の策定 （（仮称）社会資本未来プランの作成に向けた舗装部門の計画）					
【活動指標】					
進捗率（第 1 次舗装維持修繕計画）			73.0%		
危険箇所の緊急・応急措置率			100.0%		

事業の概要					
戦略	3	市道、その他市管理道路及び 県道移譲路線の維持修繕	予算	1,792,530 千円	前年度 1,543,403 千円
事務事業	3-2	県道維持事業	予算	174,631 千円	前年度 173,018 千円
内容					
3-2_県道移譲路線の維持修繕					
① 移譲対象 31 路線の維持修繕 (174,631 千円 (前年度 173,018 千円)) 年間委託による維持修繕					
【活動指標】					
危険箇所の緊急・応急措置率 100.0%					

事業の概要				
戦略	4	都市計画道路以外の幹線市道の整備	予算 795,272 千円	前年度 879,183 千円
事務事業	4-1	幹線市道整備事業	予算 795,272 千円	前年度 879,183 千円
内容				
<p>4-1_幹線道路の整備</p> <p>国、県道を補完する幹線道路の整備を行う。</p> <p>① 新設改良工事（603,100 千円（前年度 434,600 千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>（ア）プロジェクト路線（うち 483,000 千円） （仮称）八本松スマート IC 整備（正力西 1 号線、正力飯田線）</p> <p>（イ）通学路関連路線（うち 89,100 千円） 土与丸御菌宇線、黒瀬川 1 号線、駅前蓮光寺線</p> <p>（ウ）通常路線（うち 31,000 千円） 土与丸上三永線</p> <p>② 業務委託（測量設計、用地測量、補償調査） （41,300 千円（前年度 226,320 千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>（ア）通学路関連路線（うち 23,800 千円） 駅前蓮光寺線、栴坂志和西線、黒瀬川 1 号線</p> <p>（イ）通常路線（うち 17,500 千円） 土与丸上三永線</p> <p>イ 新規事業 事業化検討</p> <p>③ 用地取得、物件補償等（125,872 千円（前年度 218,263 千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>（ア）プロジェクト路線（うち 91,850 千円） （仮称）八本松スマート IC 整備（正力西 1 号線、正力飯田線）</p> <p>（イ）通学路関連路線（うち 9,000 千円） 助実 12 号線</p> <p>（ウ）通常路線（うち 25,022 千円） 飯田工業団地線</p> <p>【新】④ 渋滞対策（25,000 千円（前年度 0 千円））</p> <p>ア 交差点改良 交差点改良設計 3 箇所</p> <p>イ ソフト対策等 信号時間調整や交通規制等の関係機関協議</p> <p>⑤ 道路整備計画策定 （（仮称）社会資本未来プランの作成に向けた道路部門の計画）</p> <p>⑥ 自転車活用推進計画策定</p>				

事業の概要

【活動指標】

工 事 6 路線

(うち、1 路線は令和 6～7 年度事業、1 路線は令和 6～8 年度事業)

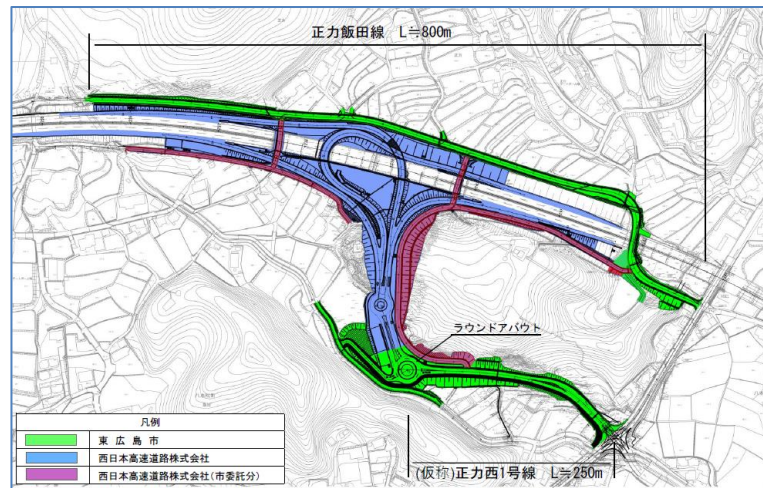
業務委託 6 路線 (うち、交差点 3 箇所)

用地取得・物件補償 4 路線

■事業スケジュール ((仮称) 八本松スマート IC 整備事業)

年度	R3	R4	R5	R6	R7以降
(仮称)八本松スマートIC 整備事業	→				
東広島市 (仮称)正力西1号線 正力飯田線	測量設計	測量設計 用地取得 文化財調査	工事 用地取得 文化財調査	工事	
NEXCO委託	測量設計	測量設計	標識設計	工事	工事

■事業概要図 ((仮称) 八本松スマート IC 整備事業)



事業の概要			
戦略	5 県が整備する道路事業の促進	予算 114,100 千円	前年度 116,780 千円
事務事業	5-1 国・県道路整備事業	予算 22,400 千円	前年度 22,000 千円
内容			
<p>5-1_国・県道路整備の促進</p> <p>広島県が実施する地域の生活に必要な道路整備を促進する。</p> <p>① 広島県が市内で整備する国県道に係る整備費の一部を、県条例の規定により負担（22,400 千円（前年度 22,000 千円））</p> <p>国道 375 号（御菌宇地区）ほか 9 路線</p>			

事業の概要															
戦略	5 県が整備する道路事業の促進	予算 114,100 千円	前年度 116,780 千円												
事務事業	5-2 県道整備事業	予算 91,700 千円	前年度 94,780 千円												
内容															
<p>5-2_県道の受託路線の整備</p> <p>県から受託した県道の整備を行う。</p> <p>① 道路改良工事（91,700 千円（前年度 94,780 円））</p> <p>東広島向原線</p> <p>【活動指標】</p> <p>東広島向原線の整備率 57.6%</p> <p>■事業スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(主)東広島向原線</td> <td>修正設計</td> <td>事業計画変更</td> <td>工事</td> <td>工事</td> <td>工事</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R3	R4	R5	R6	R7以降	(主)東広島向原線	修正設計	事業計画変更	工事	工事	工事
年度	R3	R4	R5	R6	R7以降										
(主)東広島向原線	修正設計	事業計画変更	工事	工事	工事										

事業の概要			
戦略	6	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備	予算 187,400 千円 前年度 113,500 千円
事務事業	6-1	生活市道整備事業	予算 187,400 千円 前年度 113,500 千円
内容			
<p>6-1_生活道路の整備</p> <p>緊急自然災害防止対策事業債等を活用して実施する。</p> <p>① 新設改良工事（174,400 千円（前年度 71,000 千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>御菌宇西 17 号線、政宗線、行武線、戸野診療所線、御菌宇東 39 号線、田口東 28 号線、中組 1 号線、見土路従線</p> <p>② 業務委託（測量設計、用地測量、補償調査） （4,500 千円（前年度 34,000 千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>政宗線</p> <p>イ 新規事業</p> <p>事業化検討</p> <p>③ 物件補償（8,500 千円（前年度 8,500 千円））</p> <p>ア 継続事業</p> <p>御菌宇西 17 号線、政宗線、行武線、戸野診療所線</p> <p>【活動指標】</p> <p>工 事 8 路線（うち、5 路線は令和 6～7 年度事業）</p> <p>業務委託 1 路線</p> <p>物件補償 4 路線</p>			

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化の推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 循環型社会の構築	主管部局・所属	生活環境部 廃棄物対策課
関係部局・所属	生活環境部	市民生活課	生活環境部 環境先進都市推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	3R活動を推進し、循環型社会の構築を目指す。	現状	①ごみの減量化の進捗が遅れている。 ②資源化率が上がらない。	
課題	→	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
市の責務である一般廃棄物を適正に処理する必要がある。		一般廃棄物の適正処理	高	1
一人1日当たりのごみ量が県内他市と比して多い。		生ごみ処理容器等の普及や啓発による一般廃棄物の減量化の推進	中	2
資源化率が上がらない。		分別収集に関する啓発等による資源化の促進	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 市民一人1日当たりのごみ排出量	986 (H30) マイナス指標設定	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	867	850	850	850 (R6)	g
(4) 資源化率	10 (R1)		26	27	27	(R6)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R5年度		1,494,478			
			1,465,386			
	R6年度		1,514,282			
			1,487,094			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	4・2・2 一般廃棄物適正処理事業	廃棄物対策課	5.50	1,371,841	1,427,009
1-2	4・1・4 環境美化及び保護事業	廃棄物対策課	1.60	36,869	29,858
2-1	4・2・2 一般廃棄物減量化推進事業	廃棄物対策課	3.00	15,183	13,066
2-2	2・1・12 食品ロス削減推進事業	市民生活課	0.76	2,378	1,355
3-1	4・2・2 資源化促進事業	廃棄物対策課	3.00	68,207	42,994
合計			13.86	1,494,478	1,514,282



R5 当初予算の分析（当初予算の増減内訳）		
R6 決算額の分析（結果指標の達成内訳）		
R5 当初予算		
R6 決算		
R5 当初予算の増減の内訳		
R6 決算の増減の内訳		
R5 当初予算の増減の内訳		
R6 決算の増減の内訳		
R5 当初予算の増減の内訳		
R6 決算の増減の内訳		
R5 当初予算の増減の内訳		
R6 決算の増減の内訳		
R5 当初予算の増減の内訳		
R6 決算の増減の内訳		

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	① 循環型社会の構築

事業の概要				
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算 1,456,867 千円	前年度 1,408,710 千円
事務事業	1-1	一般廃棄物適正処理事業	予算 1,427,009 千円	前年度 1,371,841 千円
内容				
1-1_一般廃棄物の適正処理				
① ごみ出し支援 (36,130 千円 (前年度 36,242 千円))				
ア ごみ指定袋の無料交付				
2歳未満の子の養育者、公的支援措置として紙おむつの交付を受けている障がい者等を対象に「ごみ指定袋」を無料交付する。				
イ ふれあい収集の実施 (うち 28,216 千円)				
ごみ出しが困難な一人暮らし等の高齢者や障がい者を対象に、ごみの戸別回収及び希望に応じ安否確認を行う。				
ウ ライター・電池の拠点回収 (うち 657 千円)				
エ ごみステーション収集用ボックス等整備補助 (うち 7,257 千円)				
		区 分	補助率	補助限度額
		ごみ収集用ボックス	2 分の 1	20 万円
		ごみ散乱防止用ネット	3 分の 2	5 万円
② ごみの適正収集 (1,367,647 千円 (前年度 1,312,416 千円))				
ア 家庭系ごみの収集 (うち 1,361,992 千円)				
(ア) 市内約 3,000 か所のごみステーションからのごみを収集、運搬 (うち 1,116,249 千円)				
(イ) ごみ指定袋・処理券の作成、販売 (うち 245,743 千円)				
イ 一般廃棄物適正排出指導の実施 (うち 5,655 千円)				
(ア) 適正排出指導員を 2 人配置 (うち 5,635 千円)				
(イ) ごみの適正排出を指導 (うち 20 千円)				
③ ごみの分別・収集方法の啓発 (0 千円 (前年度 243 千円))				
SNS を活用したごみの出し方の啓発				
④ 液状一般廃棄物の収集支援 (23,232 千円 (前年度 22,940 千円))				
ア 安芸津地域の液状一般廃棄物収集業者への補助 (うち 23,232 千円)				
補助額：収集量 1 リットルあたり 4 円 (市民の負担軽減)				

事業の概要					
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算	1,456,867 千円	前年度 1,408,710 千円
事務事業	1-2	環境美化及び保護事業	予算	29,858 千円	前年度 36,869 千円
内容					
1-2_環境美化及び保護への取組み					
① 環境美化活動 (1,716 千円 (前年度 1,797 千円))					
ア きれいなまちづくりキャンペーンの実施 (うち 769 千円)					
					
イ 環境美化強化地域の清掃 清掃地域：9 地域 (うち 947 千円)					
② 不法投棄防止活動 (21,344 千円 (前年度 28,278 千円))					
ア 不法投棄防止看板の製作 (うち 685 千円)					
看板：230 枚					
イ 不法投棄パトロール及び不法投棄ごみの回収 (うち 19,624 千円)					
市内を 4 ブロックに分け不法投棄の監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行う。					
					
(不法投棄現場)					
ウ 不法投棄ごみの処理 (うち 1,035 千円)					
広島中央環境衛生組合で処理できない処理困難物 (タイヤ・家電 4 品目等) の処理を外部委託により行う。					
エ 不法投棄されない環境づくり (うち 0 千円)					
(ア) 監視カメラの設置					
繰り返し投棄される場所については移動式監視カメラを一定期間設置する。					
③ 公衆衛生推進団体の育成支援 (6,798 千円 (前年度 6,794 千円))					
環境と健康をコミュニティで守るために組織された公衆衛生推進協議会の育成・支援を行う。					
ア 地域活動費補助 (うち 2,963 千円)					
イ 環境活動費補助 (うち 3,835 千円)					
環境保全監視員 94 名により不法投棄監視パトロール、ごみの収集を行う。					

事業の概要					
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算	14,421 千円	前年度 17,561 千円
事務事業	2-1	一般廃棄物減量化推進事業	予算	13,066 千円	前年度 15,183 千円
内容					
2-1_一般廃棄物の減量化の推進					
① ごみの減量化の促進 (7,481 千円 (前年度 8,775 千円))					
ア ごみの減量化に関するコンテストの開催 (うち 1,345 千円) ごみ減量化に関するコンテスト (アイデア) を開催する。					
イ 啓発活動の実施 (うち 171 千円)					
(ア) ごみ減量化に係る啓発 (うち 171 千円) 広島中央エコパークの施設見学通路に過去のコンテスト受賞作品や啓発パネル、生ごみ処理容器の実物等を展示する。					
(イ) 広報紙、FM 東広島等を活用した広報活動					
ウ ごみ減量出前講座の開催 3 R、広島中央エコパーク、ごみ分別種等に関する講座を開催する。					
【活動指標】					
派遣回数 20 回 ※R4 実績 17 回、R5 実績 9 回 (見込)					
エ 生ごみ処理容器等の購入費補助・貸出し (うち 5,063 千円)					
【拡】 (ア) 生ごみ処理容器等の購入費助成に係る利便性の向上 (うち 5,014 千円) 家庭用のコンポストや電気式処理機の購入費補助制度に係る申請手続きを見直し、利用しやすくすることで、制度活用の促進を図り生ごみ処理容器等の一層の普及を目指す。また、補助率と上限額を見直す。					
		対象	現行	変更後	
		生ごみ処理容器 (コンポスト、かばん型、キエーロ等)	補助率	補助率	
			3 分の 2	2 分の 1	
			補助限度額	補助限度額	
			5,000 円	10,000 円	
【活動指標】					
生ごみ処理容器等購入費助成数 330 個 ※R4 実績 173 個、R5 実績 270 個 (見込)					
(イ) 生ごみ処理機の貸出し (うち 49 千円)					
オ 生ごみ処理容器利用講習会の実施 (うち 902 千円) 令和 5 年度に消滅型生ごみ処理容器 (キエーロ) に係る講習会を開催したが、市民の関心が高いことが確認できたことから、引き続き基本的な仕組みや特徴を含めた講習内容とし、インフルエンサーの育成も見据えた普及を図る。 ・募集定員 30 世帯					
② 一般廃棄物の分析調査 (5,585 千円 (前年度 6,408 千円))					
ア 家庭系・事業系ごみのごみ質の分析 (うち 5,585 千円)					

事業の概要					
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算	14,421 千円	前年度 17,561 千円
事務事業	2-2	食品ロス削減推進事業	予算	1,355 千円	前年度 2,378 千円

内容

2-2_食品ロス削減の推進

① 食品ロス削減啓発の取組み (1,091 千円 (前年度 2,100 千円))

ア 食品ロスゼロ運動の実施 (うち 700 千円)

食品ロス削減に係る川柳等の募集及びパンフレットの配布等を行う。



(R5 食品ロス川柳コンテスト表彰式)

イ 食品ロス削減協力店への取組み (うち 391 千円)

食品ロス削減に係る啓発グッズやポスターを配付する。

② フードドライブの実施 (264 千円 (前年度 278 千円))

食品ロスとなりうる食品を回収し、福祉施設等に分配するフードドライブ事業を実施する。



(フードドライブ事業で集まった食品の一部)

事業の概要				
戦略	3	資源化の促進	予算 42,994 千円	前年度 68,207 千円
事務事業	3-1	資源化促進事業	予算 42,994 千円	前年度 68,207 千円
内容				
3-1_ゼロエミッション（資源循環）の推進				
① 食品残さ等の資源化支援（8,417 千円（前年度 29,286 千円））				
ア 飲食料品等小売業者が行う食品残さの資源化に対する支援 （うち 6,250 千円）				
イ ミミズコンポストの活用によるたい肥化の啓発（うち 2,167 千円）				
② 資源回収団体等への活動支援（17,717 千円（前年度 23,117 千円））				
資源回収を実施する団体へ回収量に応じた報償金を交付する。				
・報償金 10 円/kg				
③ 有価物の回収促進（4,192 千円（前年度 4,041 千円））				
ア 古布・古着・小型家電の拠点回収（うち 4,192 千円）				
市役所本庁・支所・出張所等の拠点において古布・古着・小型家電を回収する。				
イ おさがりコーナーの運営				
衣類のリユースについて一定程度のニーズは確認できたため、引き続き効率的な運営方法と効果の検証を行い、事業展開の可能性を検討する。				
・実施箇所：市内児童福祉施設 3 箇所				
④ 剪定枝の資源化促進（10,239 千円（前年度 10,769 千円））				
剪定枝破砕車（タウンビーバー）を利用者宅等へ派遣する。				
【活動指標】				
派遣回数 210 回				
※R4 実績 179 回、R5 実績 205 回（見込）				
【新】⑤ 紙ごみの資源化の推進（1,500 千円（前年度 0 千円））				
大量の紙ごみを広島中央エコパークへ自己搬入している事業者をターゲットに、事業者が自発的に取組む紙ごみの資源化を支援する。				
		補助率	補助限度額	
		2 分の 1	10 万円	
【新】⑥ ペットボトルの水平リサイクルによる付加価値の創造 （709 千円（前年度 0 千円））				
啓発チラシのデザイン及び新聞折込み、デザインを活用した啓発パネルを作成し、市民の意識醸成を促進する。				
⑦ 廃棄物減量化等推進員の活動支援（220 千円（前年度 0 千円））				
廃棄物減量化等推進員（リサイクル推進員）を対象にごみ減量化等に関するワークショップを開催する。				

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 水の安定供給	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属	地域振興部 豊栄支所地域振興課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全で良質な水を安定的に供給する。	現状	施設の老朽化が進んでおり、将来に向けて多くの課題がある。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	専用水道施設、飲料水供給施設の持続可能性を確保する必要がある。	専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R5	R6	R7(参考値)		
(7) 水の年間安定供給日数(計画修繕等による停止を除く)	365 (R4)	366	365	365	365 (R6)	日
(イ)	()				()	
(ウ)	()				()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			16,541			
			14,495			
R6年度			26,067			
			24,257			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	② 水の安定供給

事業の概要			
戦略	1 専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理	予算 26,067 千円	前年度 16,541 千円
事務事業	1-1 専用水道等運営事業	予算 26,067 千円	前年度 16,541 千円
内容			
1-1_専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理			
<p>① 専用水道等運営事業の推進（26,067 千円（前年度 16,541 千円））</p> <p>豊栄中央住宅団地専用水道施設、河内町大仙地区飲料水供給施設について適切に維持管理を行い、安全で良質な水を安定的に供給する。</p> <p>ア 豊栄中央住宅団地専用水道施設の管理運営（うち 14,616 千円）</p> <p>(ア) 水道企業団委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ウ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(エ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(オ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料、備品購入費等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鍛冶屋ポンプ設備等修繕、鍛冶屋取水ポンプ購入等 <p>イ 河内町大仙地区飲料水供給施設の管理運営（うち 11,451 千円）</p> <p>(ア) 水道企業団委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ウ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(エ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(オ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取水ポンプ取替修繕、配水流量計修繕等 			

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 公共用水域の水質保全	主管部局・所属	下水道部 下水道管理課
関係部局・所属	下水道部 下水道建設課	下水道部	下水道施設課
	生活環境部 環境先進都市推進課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市域の汚水を適正に処理し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。	現状	東広島市汚水適正処理構想に基づき、下水道整備事業及び小型浄化槽設置整備事業を進めているが、単独浄化槽・くみ取り槽の件数が多数残り、生活雑排水が未処理のまま公共用水域に入っている。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
下水道未普及地域の早期解消と今後到来する下水道処理施設等の老朽化に伴う改築需要の増加に対応していく必要がある。		下水道事業の推進		中	1
下水道等整備区域外から発生する生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する必要がある。		浄化槽設置整備の促進		中	2
河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に管理する必要がある。		特定地域生活排水処理施設の運営管理		中	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(ア) 下水道処理人口普及率	47.2 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	52.3	53.4	54.6	53.4 (R6)	%
(イ) 小型浄化槽設置基数(改築分)	92 (H30)		130	130	130	130 (R6)	基
(ウ) 法定検査受検率	76.7 (H30)		78.3	78.5	78.7	78.5 (R6)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	一般会計等	R5年度		R6年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
目的別事業群事業費(千円)	事業費	117,236		119,769		
		一般財源	43,146		45,552	
	人件費	R5年度		R6年度		
	公営企業会計	R5年度		R6年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
		収益的収入	5,900,348		5,822,754	
		収益的支出	5,625,899		5,376,106	
		差引	274,449		446,648	
		当年度純利益(又は純損失)	△ 16,054		143,460	
		資本的収入	4,635,523		4,228,811	
		資本的支出	6,363,400		5,972,188	
	差引	△ 1,727,877		△ 1,743,377		
	人件費	R5年度		R6年度		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	③ 公共用水域の水質保全

事業の概要					
戦略	1	下水道事業の推進	予算	11,348,294 千円	前年度 11,989,299 千円
事務事業	1-1	下水道事業 【下水道事業】	予算	11,348,294 千円	前年度 11,989,299 千円

内容

下水道事業会計

1-1_下水道事業の効率化、経営健全化の取組み

① 下水道経営の健全化 (1,977,052 千円 (前年度 2,056,059 千円))

下水道サービスを継続して安定的に提供していくため、施設の適切な維持管理、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組み、経営の健全化を図る。

- ・ 処理場管理 (うち 1,683,951 千円)
- ・ 管渠、ポンプ場管理 (うち 193,216 千円)
- ・ 使用料徴収事務委託 (うち 87,885 千円)
- ・ 水洗便所改造資金貸付金 (うち 12,000 千円)

② 計画的、効率的な施設の建設と更新

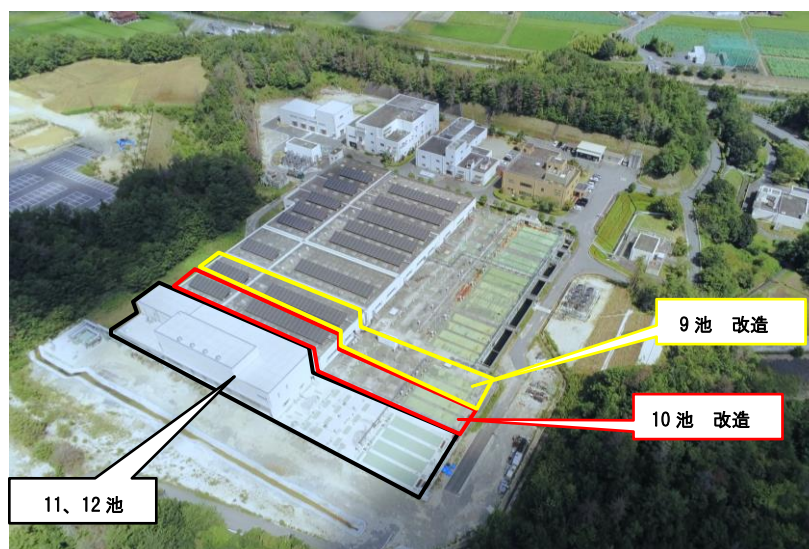
(3,553,728 千円 (前年度 4,095,300 千円))

ア 東広島浄化センター改造工事 (うち 1,239,000 千円)

流入水質の変化に対応するため、引き続き東広島浄化センターの改造工事を行う。

- ・ 東広島浄化センター10池改造の土木建築、機械電気工事等
(概算事業費 4,049,000 千円 (9、10池改造))

年度	R4	R5	R6	R7	R8
10池改造	設計	工事			
9池改造				工事	



(東広島浄化センター：令和5年8月撮影)

事業の概要

- イ 未普及解消整備計画に基づく污水管渠整備工事（うち 1,838,728 千円）
早期に未普及地域を解消するため、下水道未普及解消整備計画に基づく污水管渠の整備を行う。
- ・污水管渠実施設計業務（うち 153,300 千円）
 - ・污水管渠等建設工事（うち 1,647,400 千円）
 - ・污水管渠建設工事（工事負担金）（うち 38,028 千円）
- ※西条第二地区道路工事、八本松駅前土地区画整理事業等合併施工分
- 【活動指標】
令和 6 年度未普及地域の污水管渠建設工事着手延長：9,979m
- ウ スtockマネジメント計画に基づく施設更新（うち 227,000 千円）
下水道サービスを継続して安定的に供給するため、Stockマネジメント計画に基づく施設の更新を行う。
- ・Stockマネジメント実施設計業務（うち 30,000 千円）
 - ・Stockマネジメント工事（うち 197,000 千円）
- エ 污水管渠の改築（うち 249,000 千円）
雨天時の不明水による終末処理場の浸水被災を防止するため、不明水対策として污水管渠の改築を行う。
- ・板城地区農業集落排水管渠実施設計業務（うち 69,000 千円）
 - ・板城地区農業集落排水管更生等改築工事（うち 180,000 千円）
- ③ 災害に強い下水道の構築（132,000 千円（前年度 122,000 千円））
- ア 下水道施設の耐震対策（132,000 千円）
災害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるため、下水道施設の耐震化、耐水化を図る。
- ・東広島浄化センター耐震診断業務（うち 61,000 千円）
 - ・黒瀬水質管理センター実施設計業務（耐震・耐水）（うち 45,000 千円）
 - ・管路施設耐震診断調査業務（うち 26,000 千円）

※污水処理人口普及率

- ・市内全域における、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水及び浄化槽の污水処理施設の普及状況の指標
- 目標値（令和 17 年度末）・・・・・・・・・・100.0%
- 下水道・・・・・・・・・・うち 65.9%
- （特定環境保全公共下水道、農業集落排水含む）
- 浄化槽・・・・・・・・・・うち 34.1%

※下水道処理人口普及率

- ・下水道未普及解消整備計画においては下水道処理人口普及率を成果指標としている（目的別事業群総括管理シート成果指標）
- 令和 17 年度末目標値（下水道）・・・・・・・・・・65.9%
- 令和 6 年度目標値（下水道）・・・・・・・・・・53.4%
- 算定式＝下水道整備済区域内人口/東広島市行政人口

事業の概要					
戦略	2	浄化槽設置整備の促進	予算	108,514 千円	前年度 106,433 千円
事務事業	2-1	浄化槽設置整備事業	予算	108,514 千円	前年度 106,433 千円
内容					
2-1_浄化槽設置整備の促進					
① 浄化槽設置整備の促進 (108,514 千円 (前年度 106,433 千円))					
ア 小型浄化槽設置補助 (改築) (うち 47,304 千円)					
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用の一部を補助する。					
浄化槽 区分	補助限度額	予定基数	交付見込額	国補助金 (1/2)	県補助金 (1/3)
5人槽	332 千円	86 基	28,552 千円	14,276 千円	9,517 千円
7人槽	414 千円	40 基	16,560 千円	8,280 千円	5,520 千円
10人槽	548 千円	4 基	2,192 千円	1,096 千円	731 千円
合計		130 基	47,304 千円	23,652 千円	15,768 千円
イ 単独浄化槽・くみ取り槽転換に伴う槽撤去・配管工事費補助 (うち 51,600 千円)					
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助する。					
区分	補助限度額	予定基数	交付見込額	国補助金 (1/2)	
単独浄化槽撤去	120 千円	30 基	3,600 千円	1,800 千円	
くみ取り槽撤去	90 千円	100 基	9,000 千円	4,500 千円	
配管工事	300 千円	130 基	39,000 千円	19,500 千円	
合計			51,600 千円	25,800 千円	
ウ 人口減少地域における定住促進に対する補助 (うち 7,000 千円)					
補助金交付対象区域内で、人口減少地域に所在する単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助する。					
区分	補助限度額	予定基数	交付見込額		
人口減少対策	100 千円	70 基	7,000 千円		
エ 浄化槽の法定検査の受検推進等 (うち 2,610 千円)					
(7) 法定検査受検指導					
法定検査の未受検者等を対象に、受検指導を実施する。					
(4) 浄化槽現況調査、普及啓発					
浄化槽の現況調査、普及啓発活動を実施する。					

事業の概要						
【活動指標】						
法定検査受験率：78.5%						
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4 (速報値)
受検率(%)	76.3	75.3	76.3	76.2	77.5	80.7

事業の概要			
戦略	3	特定地域生活排水処理施設の運営管理	予算 11,255 千円 前年度 10,803 千円
事務事業	3-1	特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	予算 11,255 千円 前年度 10,803 千円
内容			
3-1_特定地域生活排水処理施設の運営管理			
① 特定地域生活排水処理施設の管理運営(11,255千円(前年度10,803千円)) 河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に運営・維持管理する。 (対象132基、うち124基が稼働中 ※令和5年12月末時点)			

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	4 豊かな自然環境の保全
施策の将来の目標像	地域の自然環境の持つ価値や機能が十分に認識され、豊かな自然環境を維持・保全することで、市民の健康で快適な暮らしが維持され、自然と調和した潤いのある社会が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合	25%	60%
	「空気のきれいさ」に対して満足している市民の割合	70%	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 豊かな自然環境の保全	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	良好な生活環境の保全や生物多様性の維持	現状	市民の環境意識の低下への懸念	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市街化の進展に伴う環境悪化が懸念される	環境汚染の未然防止		高	1
犬・猫に関する苦情が多く、適正な飼養と飼い主のマナー向上を図る必要がある	犬・猫の適正な飼養の促進		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 環境基準達成率	86.7 (R1)		89.0	90.0	90.0	90.0 (R6)	%
(イ) 狂犬病予防注射接種率	75.0 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	77.4	78.0	78.0	78.0 (R6)	%
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			45,328			
			21,926			
R6年度			41,323			
			15,334			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	4 豊かな自然環境の保全	① 豊かな自然環境の保全

事業の概要					
戦略	1 環境汚染の未然防止	予算	30,177 千円	前年度	33,888 千円
事務事業	1-1 環境保全事業	予算	30,177 千円	前年度	33,888 千円

内容

1-1_環境汚染の未然防止

① 環境監視による地域環境の維持・向上 (27,302 千円 (前年度 30,671 千円))

ア 環境監視の実施 (うち 26,600 千円)

大気・水質・騒音などの環境調査を実施し、環境を監視する。調査結果は環境白書やホームページで公表する。

項目	内容	事業費
公共用水域水質調査	黒瀬川や沼田川等の河川、安芸津海域及び地下水の水質調査を行う (28 地点)。	12,822 千円
大気環境調査測定	市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行う (13 地点)。	5,971 千円
自動車騒音常時監視及び環境騒音調査	市内の自動車騒音や環境騒音の実態を調査し、騒音公害防止のための基礎資料とする。(自動車騒音 13 路線、環境騒音 115 地点)	4,609 千円
工場排水水質検査	工場等の特定施設に立ち入り調査し、公共用水域に排出される放流水の確認や指導を行う (のべ 93 事業所)。	2,145 千円
臭気指数測定調査	悪臭公害防止のため、悪臭防止法に基づく測定と指導を行う。	297 千円

イ 環境審議会の運営 (うち 702 千円)

環境の保全や創出に関する基本的事項を調査・審議する。

② 市民の環境意識の向上 (2,875 千円 (前年度 3,217 千円))

ア 各種啓発活動の継続

第2次東広島市環境基本計画の年次報告書として、東広島の環境(環境白書)をとりまとめ、本市の環境調査結果や各主体の活動を公表するとともに、出前講座や、ひがしひろしまこどもエコ探検隊等の環境学習の機会を充実させる。また Town & Gown Office(TGO)と連携し、地域の貴重な自然環境に関する情報を把握しながら、地域に広報や啓発を行う。

(出前講座等参加人数)

(単位：人 []内は開催回数)

	R1	R2	R3	R4	R5※
出前講座	644 [17]	484 [11]	252 [13]	948 [19]	601 [13]
エコ探検隊	68 [4]	80 [2]	22 [1]	135 [4]	112 [4]

※R5 は R5. 12 月末時点

事業の概要								
戦略	2	犬・猫の適正な飼養の促進	予算	11,146 千円	前年度	11,440 千円		
事務事業	2-1	狂犬病予防事業	予算	11,146 千円	前年度	11,440 千円		
内容								
2-1_犬・猫の適正な飼養の促進								
① 犬・猫の適正な飼養の促進 (11,146 千円 (前年度 11,440 千円))								
ア 狂犬病予防の推進 (うち 3,192 千円)								
<p>狂犬病予防注射接種率の向上のため、動物病院との連携や、集合注射の実施 (57 会場)、全登録者への案内通知、未受診者への督促通知、広報啓発 (12 回) を行う。</p> <p>(狂犬病予防注射の接種状況) (単位：件)</p>								
注射の区分	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 (12 月末時点)				
登録数	9,354	9,383	9,597	9,785				
集合注射	267	358	395	381				
個別注射	6,552	6,607	6,605	6,042				
注射合計	6,819	6,965	7,000	6,423				
接種率	72.9%	74.2%	72.9%	65.6%				
イ 犬・猫など愛護動物の正しい飼い方の推進 (うち 3,191 千円)								
<p>動物愛護についての普及・啓発のため、広島県、動物愛護ボランティアとの連携によるイベントの開催、譲渡犬猫の不妊去勢手術に係る経費の補助を行う。</p> <p>(犬猫譲渡会の参加人数) (単位：人)</p>								
	R2		R3		R4		R5	
	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月
人数	中止	1,100	中止	2,000	900	1,700	1,000	1,000
※R3.10 月、R4.10 月は市主催「環境フェア」と同日開催。								
(譲渡犬猫の参加・成約数)								
	R2		R3		R4		R5	
	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月
犬参加	—	4	—	5	7	13	8	11
犬成約	—	1	—	2	2	5	3	3
猫参加	—	36	—	63	63	96	45	82
猫成約	—	14	—	21	17	16	8	17

事業の概要

(譲渡犬猫不妊去勢手術費補助金交付状況)

年度	R3 実績	R4 実績	R5 (12月末時点)	R6 予算
申請数	12 件	16 件	20 件	—
補助額	1,148 千円	1,100 千円	566 千円	2,000 千円
犬	2 頭	10 頭	10 頭	80 頭
猫	86 頭	70 頭	26 頭	

ウ 野良犬・猫対策 (うち 4,763 千円)

(7) 野良犬対策 (うち 4,539 千円)

- ・広島県動物愛護センターとの連携による保護活動の実施
- ・野良犬保護器の貸出しによる保護・搬送

(保護器設置・搬送等の件数) (単位：件)

	R2	R3	R4	R5 (12月末時点)
件数	130	118	64	25

(1) 野良猫対策 (うち 224 千円)

- ・広島県が推進する地域猫活動についての広報等による周知
- ・地域猫活動を実施する地域と県との調整・協議
- ・地域猫活動団体への補助金交付

(地域猫活動団体申請数) (単位：件)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (12月末時点)	計
件数	1	3	7	3	8	4	6	5	37

(地域猫活動費補助金交付状況)

年度	R3 実績	R4 実績	R5 (12月末時点)	R6 予算
申請数	4 件	5 件	2 件	10 件
補助額	80 千円	100 千円	30 千円	200 千円

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上
施策の将来の目標像	共通の目的の実現や地域課題の解決のため、コミュニティ活動や地域の特性を踏まえた取組みが活発に展開され、多様な市民・団体等が相互に連携・協力しながら活動、活躍することにより、地域の持つ力が向上しています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H30年度)	目標値(R6年度)
	地域コミュニティ活動への参加率	67% *市民満足度調査	75%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	現状	住民の地域コミュニティ活動の参加率及び住民自治協議会の認知度が低い。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
住民自治協議会等の持続性の強化(担い手・後継者育成、加入促進等)に向けた支援が必要	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援		高	1
老朽化した地域センターの改修、地区拠点施設の機能向上が必要	活動拠点の充実		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 地域コミュニティ活動への参加率	67.0 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	75.0	75.0	75	75.0 (R6)	
(4) 住民自治協議会の認知度	65.6 (R1)		69.0	70.0	70	70.0 (R6)	
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度		1,578,689				
		546,354				
R6年度		1,693,085				
		610,151				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2・1・9 市民協働推進事業	地域づくり推進課	6.90	257,603	284,113
1-2	2・1・9 ふるさと寄附金運営事業	地域づくり推進課	0.95	817,411	594,665
2-1	2・1・9 地域活動拠点整備事業	地域づくり推進課	3.26	458,719	698,297
2-2	2・1・9 コミュニティ推進事業	地域づくり推進課	1.84	44,956	116,010
合計			12.95	1,578,689	1,693,085

R5 当初予算の分析（前期比）					
R6 当初予算の分析（結果前回の予算対比）					
R5 決算の分析					
決算時記載					
R6 決算の分析					
R5 当初予算の分析（前期比）					
R6 当初予算の分析（結果前回の予算対比）					
R5 決算の分析					
R6 決算の分析					

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上

事業の概要					
戦略	1 住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算	878,778 千円	前年度	1,075,014 千円
事務事業	1-1 市民協働推進事業	予算	284,113 千円	前年度	257,603 千円

内容

1-1_市民協働の推進

① 住民自治協議会等の持続可能な活動の支援

(207,541 千円 (前年度 196,889 千円))

市民協働のまちづくりの更なる発展を図るための具体的な施策に取り組む。

ア 地域づくり推進交付金の交付 (うち 186,977 千円)

地域を代表する組織である住民自治協議会が特色あるまちづくりに取り組むことを促進するために、地域づくり推進交付金を交付する。

イ 市民協働のまちづくり活動応援補助金の交付 (うち 10,000 千円)

市民活動団体等が行う地域の課題解決及び魅力向上につながる公益的な活動に対し、補助金を交付することで、市民協働のまちづくりを推進する。



豊栄郷土かるたをつくろう
(市民活動団体)



外国籍住民とつながる防災に強い
まちづくり活動 (学生)

市民協働のまちづくり活動応援補助金 採択事業

ウ 市民協働のまちづくり講演会等の開催 (うち 901 千円)

市民協働のまちづくりの全国的な先進的な事例を学び、共有する「まちづくり講演会」を開催する。

事業の概要



まちづくり講演会の様子

【新】エ （仮称）地域コーディネーターの導入（うち 9,663 千円）

集落支援員制度を活用して、住民自治協議会等への「目配り」として巡回、状況把握を行い、課題解決を図るため、（仮称）地域コーディネーターを配置する。

② 担い手の発掘（36,081 千円（前年度 28,508 千円））

都市地域から協力隊員を過疎地域等に呼び込み、地域の課題解決や魅力創造などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る。

ア 地域おこし協力隊の配置と活動支援（うち 32,081 千円）

協力隊員の地域活動を伴走的に支援するとともに、任期を終える隊員の後任を配置する。

【参考】配置人数：豊栄町 1 名、河内町 1 名、安芸津町 1 名、

志和町 1 名、福富町 1 名（令和 6 年 1 月 1 日時点）



志和町隊員の活動



福富町隊員の活動

地域おこし協力隊の活動の様子

イ 定住のための起業等支援（うち 4,000 千円）

任期を終える隊員が定住し起業をする場合は、起業等支援補助金を交付する。

事業の概要

③ 地域活動団体による住民自治協議会等のサポート、連携の促進

(38,907 千円 (前年度 28,553 千円))

まちづくりの多様な担い手の活動を維持し、発展させていくため、地域活動団体による住民自治協議会等のサポートや連携を促進する。

ア 市民協働センターの管理運営 (うち 8,716 千円)

「市民と市民」、「市民と行政」の協働の拠点として、市民活動や担い手の交流・ネットワーク作りを支援し、市民協働のまちづくりを推進する。

【拡】イ 市民協働のまちづくりを推進する人材の配置 (うち 16,933 千円)

市民協働センター専門員及び協働支援員を配置し、住民自治協議会や市民活動団体の活動の支援や連携のコーディネート等を支援する。

(新たな取組の事例)

- ・ 「防災×高齢者福祉」「環境×子育て支援」「国際交流×スポーツ」等、異業種の市民団体とのマッチングによる新たな市民活動の創出
- ・ 異なる複数の専門性を持ったマネージャーの育成 (ユーティリティアマネージャーの育成)
- ・ 複数の住民自治協議会による連携した市民活動や、事業の共同化等に対する支援 等

ウ 広島大学の学生を対象とした「まちづくり実践講座」の開講

(うち 1,048 千円)

まちづくりの核となる学生の養成に向けて、広島大学と連携し、広島大学の1~2年生を対象に、座学とフィールドワークによる集中講座(授業)を開講する。



フィールドワーク



成果発表 (プレゼンテーション)

エ 「学生協働支援隊」による地域おこしのきっかけづくり

(うち 10,246 千円)

住民自治協議会のまちづくりに学生の力を活かすために結成した学生協働支援隊により、地域おこしのきっかけづくりに取り組む。

事業の概要



吉原地域での学生協働支援隊の様子



西条地域での学生協働支援隊の様子



戸野地域での学生協働支援隊の様子



木谷地域での学生協働支援隊の様子

【新】オ 市民協働推進イベントの開催による市民活動の周知（うち 1,964 千円）
市民の方々が地域での活動を始めるきっかけをつくることを目的として、様々な市民活動を行っている団体やCSR活動を行っている企業に参加してもらう市民協働推進イベントを開催する。

④ 市民活動情報の共有の促進（1,584 千円（前年度 1,584 千円））
まちづくりの多様な担い手による活動の情報発信や情報共有を支援し、地域でのつながりや愛着を持つきっかけづくりを推進する。

ア 市民活動情報サイトの運営（うち 1,584 千円）

市民活動に係る情報サイトを引き続き運営することで、市民活動団体等の情報の発信・共有を促進する。



市民活動情報サイトすきかもトップページ

事業の概要					
戦略	1	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算	878,778 千円	前年度 1,075,014 千円
事務事業	1-2	ふるさと寄附金運営事業	予算	594,665 千円	前年度 817,411 千円

内容

1-2_ふるさと寄附金制度の活用

地域活動の財源確保のため、ふるさと寄附金制度を運営し、活用を図る。

- ① 専門サイトの活用及び返礼品の拡充(594,665 千円(前年度 817,411 千円))
ふるさと寄附金運営サイトに掲載する返礼品の拡充やクラウドファンディングの活用を通して、財源確保や本市特産品のPR、魅力の発信等を図る。



東広島市ふるさと寄附金に係る返礼品（一例）

事業の概要					
戦略	2	活動拠点の充実	予算	814,307千円	前年度 503,675千円
事務事業	2-1	地域活動拠点整備事業	予算	698,297千円	前年度 458,719千円

内容

2-1_地域活動拠点の整備

市民協働のまちづくりを推進するため、地域センター等を住民自治協議会及び生涯学習の活動拠点として整備・充実させるとともに、大規模改修により長寿命化を図る。

① 地域センター改修設計(27,640千円(前年度0千円))

【新】ア 八本松地域センター等複合施設建築基本設計(うち20,640千円)

公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している八本松地域センターを八本松出張所等と複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設するため、基本設計を行う。



八本松地域センター等複合施設建設予定地

年度	R 6	R 7	R 8	R 9	工事概要
設計	→	→			R 6 事業内容：基本設計
工事			→		

事業の概要

イ 造賀地域センター空調更新設計（うち 2,500 千円）

老朽化した造賀地域センターの空調設備の更新を実施することにより、センターの環境を改善し、利用者の利便性の向上を図るため、空調更新設計を行う。



造賀地域センター

年度	R 6	R 7	工事概要
設 計	→		R 6 事業内容：空調更新設計
工 事		→	

ウ 入野地域センター大規模改修設計（うち 4,500 千円）

地域センター改修計画において改修の優先度が高い入野地域センターについて、長寿命化のための大規模改修（外壁改修、塗装改修、玄関庇改修、内部改修、照明 LED 化、空調機改修）を行う。



入野地域センター

年度	R 6	R 7	工事概要
設 計	→		R 6 事業内容：改修設計
工 事		→	

事業の概要

- ② 地域センター等の整備・改修（670,657 千円（前年度 458,719 千円））
 ア 地域センター駐車場整備用地取得及び造成設計（うち 26,827 千円）
 駐車場が不足している東志和地域センターについて、測量・設計・用地取得を行う。



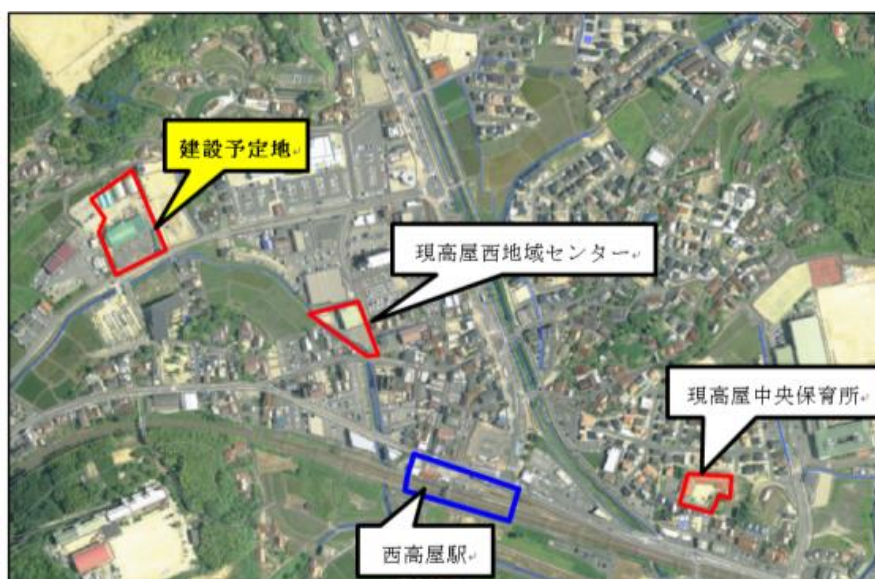
東志和地域センター

年度	R 6	R 7	工事概要
測量 設計 用地取得	→		R 6 事業内容：測量・設計・用地取得
工事		→	

イ 高屋西地域センター等複合施設造成工事及び建築工事

（うち 617,303 千円）

公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している高屋西地域センターを高屋中央保育所と複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設するため、造成工事及び建築工事を行う。



高屋西地域センター等複合施設建設予定地

事業の概要

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	事業概要
用地取得	→				R 6 事業内容：造成工事、 建築工事
造成設計	→				
建築設計		→			
造成工事			→		
建築工事				→	

【拡】ウ 環境に配慮した地域センターの管理運営（24,257 千円）

(7) 地域センターの空調更新（うち 23,995 千円）

老朽化した地域センターの空調設備の更新について、ESCO 事業を活用して実施することにより、センターの環境を改善し、利用者の利便性の向上を図る。

【R 6 年度導入施設】

寺西地域センター、三永地域センター、板城地域センター

【R 5 年度導入施設】

郷田地域センター、平岩地域センター、高屋東地域センター

< E S C O 事業とは >

エネルギーサービスカンパニーの略で、設備の高効率化を図り、光熱水費の削減を進めていく事業のこと。

(1) 地域センターの照明 L E D 化（うち 262 千円）

地域センターの環境を改善するため、事業効果が見込める施設の照明について、リース方式により L E D 化を行った地域センターについて 5 年間賃貸借料を支払う。

【R 5 年度導入施設】川上地域センター

エ 地域センターの修繕等（2,270 千円）

(7) 空調改修に伴う修繕（うち 2,100 千円）

(1) 木谷地域センターアスベスト調査（うち 170 千円）

事業の概要

戦略	2 活動拠点の充実	予算	814,307 千円	前年度	503,675 千円
事務事業	2-2 コミュニティ推進事業	予算	116,010 千円	前年度	44,956 千円

内容

2-2_コミュニティの推進

住民主体によるコミュニティ活動を支援するため、その活動拠点となる集会施設の整備や集会施設を管理する自治会、住民自治協議会、住民組織等に対して、整備に関連する補助等を行うことにより、地域におけるコミュニティづくりを推進する。

- ① 市有集会施設等の整備及び維持管理（81,236 千円（前年度 15,246 千円））
政策的に市が設立し、継続して保有する集会所の改修及び施設の修繕、維持管理等を行う。

【令和6年度事業（主なもの）】

○下三永集会所改修工事(41,300 千円)

○前長沢集会所改修工事(34,560 千円)



下三永集会所



前長沢集会所

- ② 集会施設整備費の補助（24,774 千円（前年度 19,710 千円））

ア 住民組織自らが行う集会施設の整備（新築・改築・修繕等）に対する補助金交付

補助対象	件数	補助率	限度額
改築	7	1/2	650 万円
修繕	16	1/2	50 万円

イ 集会施設の適正配置を進めるための譲渡集会施設の整備（改築・修繕等）に対する補助金交付

補助対象	件数	補助率	限度額
改築	2	3/4	650 万円
修繕	3	10/10	100 万円
解体	0	10/10	全額
下水道接続	0	10/10	全額
登記	1	10/10	全額

事業の概要

- ③ 一般コミュニティ助成事業（10,000 千円（前年度 10,000 千円））
（財）自治総合センターが宝くじの普及・広報の一環として実施している一般コミュニティ助成事業を活用して、住民自治協議会に対し、地域のイベントや日常の活動に必要な資器材・備品等の購入費を助成する。
上限 2,500 千円（助成率 10/10）× 4 団体
- ④ 地縁団体の設立支援及び認可
集会所等の不動産を所有することとなる自治会等に対し、地縁団体の設立支援及び申請に基づく地縁団体の認可を行う。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生社会の実現	現状	外国人：必要な情報を入手できない等により、生活に困り事がある人がいる 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	情報提供の充実や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援	外国人市民の生活環境の充実	中	1
	地域住民や同国出身者とのつながりの希薄さや、外国人市民の活躍の場の不足	外国人も共に活躍できる環境づくり	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 外国人新規転入世帯に対する生活オリエンテーション実施率	33.0 (H30)		48.0	51.0	54.0	51.0 (R6)	%
(4)	()	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率				()	
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			32,548			
			8,915			
R6年度			39,184			
			12,460			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2・1・7 外国人市民受入体制等整備事業	市民生活課	1.23	22,744	23,245
1-2	2・1・7 コミュニケーション支援事業	市民生活課	0.30	6,506	6,136
1-3	2・1・7 国際化推進プラン推進事業	市民生活課	1.00	184	6,684
2-1	2・1・7 外国人市民地域参画促進事業	市民生活課	0.30	3,114	3,119
合計			2.83	32,548	39,184

R5 当初予算額		R6 当初予算額	
R5 決算額		R6 決算額	
決算時記載			
R5 当初予算額		R6 当初予算額	
R5 決算額		R6 決算額	
決算時記載			
R5 当初予算額		R6 当初予算額	
R5 決算額		R6 決算額	
決算時記載			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現

事業の概要				
戦略	1 外国人市民の生活環境の充実	予算	36,065 千円	前年度 29,434 千円
事務事業	1-1 外国人市民受入体制等整備事業	予算	23,245 千円	前年度 22,744 千円

内容

1-1_外国人市民の受入体制等の整備

外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らすことができるようにするために、受入体制等を整える。

① 相談体制の充実 (12,846 千円 (前年度 12,680 千円))

ア 外国人コミュニケーションコーナーの運営

コミュニケーションコーナーを開設し、多言語で生活相談に応じるほか、生活支援やイベント等各種情報を提供する。

(ア) 多言語による相談窓口の開設 (英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語)

相談時間	半日 ×回数	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
英語	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
中国語	4	○		○									○	○	
ポルトガル語	2					○							○		
ベトナム語	2							○							○

- (イ) 多言語による無料法律相談の実施 (毎月 1 回/1 回あたり 3 人×45 分)
- (ウ) 海外の情報誌や書籍を閲覧できる情報コーナーの開設
- (エ) 対象者の特性に応じたツールを活用した情報発信



(多言語による相談窓口)



(情報コーナー)

② 情報提供の充実 (8,863 千円 (前年度 8,284 千円))

ア 生活オリエンテーションの実施 (うち 631 千円)

新規転入の外国人へ必要な各種行政サービスや生活習慣、ルール等を説明するオリエンテーションを実施し、円滑な生活のスタートを支援する。

事業の概要

- (ア) 転入手続き等来庁時のオリエンテーション（庁内窓口で随時実施）
- (イ) 留学シーズンにおける大学への出張オリエンテーション（随時実施）
- (ウ) 事業所等への出張オリエンテーション（希望により随時実施）
- イ 相談機能の充実・行政資料等の多言語化の推進（うち 7,901 千円）
行政国際化推進員の配置による窓口通訳、行政資料等の多言語化を推進する。（通年 1 名）
- ウ 各種行政窓口等における多言語対応の充実（うち 331 千円）
自動翻訳ツールの配備により多言語対応の充実を図る。（15 台配備）

（iPad 配備所属）管財課、市民税課、収納課、国保年金課（2）、こども家庭課、保育課、学事課、地域共生推進課、医療保健課、青少年育成課、市民生活課（2）
（ポケトーク配備所属）市民課（2）



（庁内窓口での生活オリエンテーション）（大学での生活オリエンテーション）

③ 多様な人材の活躍支援（1,536 千円（前年度 1,780 千円））

ア 私費留学生等への支援

市内に在住する私費留学生等に対し、奨学金等の経済的支援を行う。

事業の概要				
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算 36,065 千円	前年度 29,434 千円
事務事業	1-2	コミュニケーション支援事業	予算 6,136 千円	前年度 6,506 千円
内容				
1-2_コミュニケーション支援				
① 日本語教室等の開催 (6,106 千円 (前年度 6,448 千円))				
ア にほんごきょうしつ東広島Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (各週2回)、漢字 (週1回) (うち 3,956 千円)				
日本語教師がレベルに応じて授業を実施する教室型の日本語教室を実施する。				
イ にほんごわいわい (週1回・西条2クラス、八本松・黒瀬・安芸津各1クラス) (うち 969 千円)				
ボランティアとの会話をとおして、日本語習得を支援する交流型の日本語教室を実施する。				
ウ One-to-Oneにほんご (随時)				
ボランティアと外国人市民が1対1で日本語での会話をとおして、外国人の日本語習熟度を高めるとともに、相互の国際理解を深める。				
エ にほんごひろばU-18 (小学生向け週2回、中高生向け週2回) (うち 1,181 千円)				
外国人児童生徒を対象に、日本語学習や教科学習の支援及び居場所づくりに取り組む。				
				
(にほんごきょうしつ東広島)		(にほんごわいわい)		
② 「やさしい日本語」の普及促進 (30 千円 (前年度 58 千円))				
ア 市職員への「やさしい日本語」研修の実施				
窓口等での外国人市民とのコミュニケーションを円滑にするため、市職員を対象に、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の普及に向けた研修を実施する。				
【活動指標】				
実施回数 1 回				
※R4 実績 1 回、R5 実績 2 回 (見込)				

事業の概要				
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算 36,065 千円	前年度 29,434 千円
事務事業	1-3	国際化推進プラン推進事業	予算 6,684 千円	前年度 184 千円
内容				
1-3_国際化推進プランの推進				
<p>審議会を開催し、第3次国際化推進プランの取組に対する実施状況の検証等を行うほか、第4次国際化推進プラン策定に向け、ワークショップやアンケート調査を行う。</p> <p>① 国際化推進プラン審議会の開催（459 千円（前年度 184 千円）） 現プランの検証や次期プラン策定に向けた審議会を開催する。</p> <p>② 次期プラン策定に係るワークショップの開催等 （6,225 千円（前年度 0 千円）） 交流団体等の関係者とのワークショップや外国人市民に対するアンケートによるニーズ調査を行う。</p>				

事業の概要				
戦略	2	外国人も共に活躍できる環境づくり	予算 3,119 千円	前年度 3,114 千円
事務事業	2-1	外国人市民地域参画促進事業	予算 3,119 千円	前年度 3,114 千円
内容				
2-1_外国人市民の地域参画の促進				
<p>外国人市民が地域とつながることにより、安心して生活し、地域社会で活躍できるよう啓発を行う。</p> <p>① 地域活動への参加促進（2,901 千円（前年度 2,896 千円））</p> <p>ア 多文化共生コーディネーターの配置 外国人市民の地域活動への参加を促進するため、多文化共生コーディネーターを配置し、地域の国際交流を支援する。</p> <p>② 市民への意識啓発（218 千円（前年度 218 千円））</p> <p>ア 「やさしい日本語」講座の実施（うち 218 千円） 外国人集住地域等で「やさしい日本語」講座を実施する。</p> <p>【活動指標】 実施回数 2 回 ※R4 実績 2 回、R5 実績 2 回（見込）</p> <p>【拡】イ 多文化共生ヒント集の作成 各地域の自治会や地域行事等を紹介する外国人市民向け啓発資料の作成のほか、外国人市民との交流ヒント集等を作成し、地域の多文化共生を支援する。</p>				

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値 (R6年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 国際交流と相互理解の促進	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	友好都市・親善都市等との都市間交流や、地域に暮らす日本人・外国人市民の交流機会の創出により、市民の国際感覚の醸成と異文化理解の促進を図る	現状	外国人：交流したいと思っているが交流できていない人がいる、地域住民との交流がなく地域に溶け込めていない人がいる 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題	誰かが参加しやすい交流機会が少なく異文化理解が十分でない 交流を支える団体間のつながりが十分でない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		交流による異文化理解の促進	中	1

4 成果指標



成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 多文化共生事業参加者数	3,027 (H30)		3,500	3,600	3,700	3,600 (R6)	人
(4) 「東広島国際フェスタ」参加者数	2,400 (R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	2,600	5,100	5,200	5,100 (R6)	人
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5年度		9,370			
			1,684			
	R年度		8,550			
	6年度		1,652			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	② 国際交流と相互理解の促進

事業の概要				
戦略	1 交流による異文化理解の促進	予算	8,550 千円	前年度 9,370 千円
事務事業	1-1 国際交流推進事業	予算	7,132 千円	前年度 7,961 千円
内容				
1-1_国際交流の推進				
<p>外国人市民と日本人市民が相互理解のもと、共に市民として暮らす多文化共生のまちづくりを実現するために、多様な市民の交流を推進し、国際感覚の醸成と相互理解を深める。</p> <p>① 交流機会の創出と活動の支援 (6,354 千円 (前年度 7,402 千円))</p> <p style="text-align: center;">※H I C = (公財) ひろしま国際センター</p> <p>ア 誰もが参加しやすい交流機会の創出 (うち 6,354 千円)</p> <p>(7) 国際化推進協議会による交流事業 (東広島国際フェスタ等)</p> <p>交流団体、学生、企業等様々な個人・団体と連携し、誰もが参加しやすい国際交流イベント等を開催する。また、多様な交流団体や個人が連携することで、相互協力の体制づくりやネットワークの充実を図り、国際交流活動の活性化に繋げる。</p> <p>(イ) H I C と連携した多文化共生事業 (子ども英語村、東広島バスツアー、子育て交流会等)</p> <p>外国人市民、日本人市民の交流機会の提供を行うことにより、地域の国際化や多文化共生を推進する。</p> <p>イ 交流団体が実施する事業の情報発信等の支援</p> <p>広報紙や国際化推進協議会の HP 等を活用し、随時、情報を発信する。</p>				
				
(東広島国際フェスタ)		(子育て交流会)		
<p>② 意識啓発、異文化理解の促進 (633 千円 (前年度 419 千円))</p> <p>ア 外国人市民への意識啓発、異文化理解の促進 (うち 199 千円)</p> <p>(7) 国際化推進協議会による交流事業 (日本伝統文化講座等)</p> <p>外国人市民を対象に日本文化紹介・体験の交流会を行い、異文化理解を促進する。</p>				

事業の概要

イ 日本人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち 434 千円）

(7) H I C と連携した多文化共生事業（「やさしい日本語」講座）

異文化理解のきっかけづくりとして、日本人市民に対して、「やさしい日本語」講座等を実施して意識啓発を行う。

【活動指標】

実施回数 4 回

※R4 実績 2 回、R5 実績 2 回（見込）

(イ) 徳陽市紹介事業

パネル展示等により、日本人市民に対して友好都市である中国徳陽市の紹介を行う。



（日本伝統文化講座）



（「やさしい日本語」講座）

③ 交流を支える団体への支援及び人材の育成（145 千円（前年度 140 千円））

ア 国際交流関係団体への支援（うち 90 千円）

イ 国際交流ボランティア登録促進及び研修会実施（うち 55 千円）

【活動指標】

実施回数 3 回

※R4 実績 3 回、R5 実績 3 回（見込）

団 体 名
東広島市国際化推進協議会
東広島市日中親善協会
東広島市日韓親善協会
広島ベトナム平和友好協会
広島アセアン協会

（主な関係交流団体）



（国際交流ボランティア研修会）

事業の概要									
戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	8,550 千円	前年度 9,370 千円				
事務事業	1-2	都市間交流推進事業	予算	1,418 千円	前年度 1,409 千円				
内容									
1-2_都市間交流の推進									
<p>友好都市である中国徳陽市からの定期訪問団受入れをはじめとした、海外都市との交流を推進する。</p> <p>① 中国徳陽市からの定期訪問団等の受入れ(1,418 千円(前年度 1,409 千円))</p> <table border="1"> <tr> <td>友好提携日</td> <td>1993 年 (平成 5 年) 10 月 14 日</td> </tr> <tr> <td>近年の交流状況</td> <td> <p>■東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年 (平成 30 年) 10 月 30 日～11 月 2 日 定期訪問団 (通訳含む 7 名) を徳陽市へ派遣。 <p>■徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019 年 (令和元年) に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年 (1993 年) を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p> </td> </tr> </table>						友好提携日	1993 年 (平成 5 年) 10 月 14 日	近年の交流状況	<p>■東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年 (平成 30 年) 10 月 30 日～11 月 2 日 定期訪問団 (通訳含む 7 名) を徳陽市へ派遣。 <p>■徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019 年 (令和元年) に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年 (1993 年) を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p>
友好提携日	1993 年 (平成 5 年) 10 月 14 日								
近年の交流状況	<p>■東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年 (平成 30 年) 10 月 30 日～11 月 2 日 定期訪問団 (通訳含む 7 名) を徳陽市へ派遣。 <p>■徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019 年 (令和元年) に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年 (1993 年) を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p>								

令和6年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

2 暮らしづくり

内容

<総務部（経営戦略担当分）>

(1) 地域情報化の推進（127,680 千円（前年度 116,700 千円））【2 款 1 項 8 目】

① 情報通信基盤の整備（うち 124,325 千円）

ア 通信・放送サービスを提供するための引込線の敷設

市が整備・所有する情報通信基盤（光ファイバーケーブル網）を用いて公設民営方式により提供するインターネット接続サービス又はケーブルテレビ視聴サービスについて、サービス利用契約者に対してサービスが利用できる環境を整備する。

イ 情報通信基盤の保守等

情報通信基盤の修繕、支障移転などの保守・維持管理を行う。

② 公衆無線 LAN の運営（うち 3,355 千円）

ア 東広島フリーWi-Fi の運営

公共施設に公衆無線 LAN 機器を設置し、施設利用者が手軽にインターネットを利用できる環境を確保する。

<地域振興部>

(1) 地域センター等の管理運営

（361,599 千円（前年度 339,402 千円））【2 款 1 項 9 目】

① 地域センター及び地区拠点施設の維持管理（うち 95,109 千円）

市内 37 地域センター（うち直営は 8 施設）及び 11 地区拠点施設の維持管理を行う。

② 地域センター職員の配置（うち 50,120 千円）

地域センターの管理運営、住民自治協議会事務の補助及び生涯学習活動を行う職員（センター長、事務職員、事務補助員）を配置する。

③ 地域センターの指定管理（うち 216,370 千円）

地域センターでの活動をより活発なものとするため、地域の状況に応じた運営ができるよう地域センターに指定管理者制度を導入する。（令和 6 年度：29 施設）

<生活環境部>

(1) 生業資金等債権の管理（250 千円（前年度 352 千円））【3 款 1 項 6 目】

① 債権の回収・管理

生業資金等貸付金の債務者（連帯保証人、相続人含む）に対して、電話等での納付指導を行うとともに、訪問や口座振替等による債権回収及び債権管理を行う。

内容

(2) 人権センターの管理運営

(41,255 千円 (前年度 38,126 千円)) 【3 款 1 項 6 目】

① 人権センターの管理運営 (うち 39,102 千円)

市民の福祉向上や人権啓発推進の拠点となる市内 4 か所の人権センターの維持管理を行う。

② 交流促進講座等の開催 (うち 2,153 千円)

市民相互の交流によって本市に生きることが誇りに持てる地域社会づくりに資するため、地域ニーズに即した各種教養・文化活動の講座等を開催する。

(3) 衛生施設浸水等の対応 (556 千円 (前年度 750 千円)) 【4 款 1 項 1 目】

① 衛生施設浸水への見舞金 (うち 156 千円)

豪雨等の自然災害により、家屋において床上浸水又は床下浸水の被害を受けた世帯に対し、市民の福祉と生活の安定に資するため、浸水見舞金を交付する。

② 衛生施設流入土砂等の撤去 (うち 400 千円)

災害救助法適用時において、災害により衛生施設に土砂等が流入した世帯に対し、衛生施設の早期復旧と生活の安定に資するため、流入した土砂等の撤去を行う。

(4) 斎場の適切な管理運営

(166,879 千円 (前年度 165,330 千円)) 【4 款 1 項 4 目】

① 斎場 (5 か所) の管理運営、火葬業務

斎場 5 か所 (ひがしひろしま聖苑、黒瀬斎場、豊浄苑、河内斎場、安芸津斎場) の維持管理等を行う。

・黒瀬斎場火葬炉設備修繕 21,725 千円 等

(5) 市営墓地 (ひがしひろしま墓園を除く) の貸付、維持管理

(1,871 千円 (前年度 968 千円)) 【4 款 1 項 4 目】

① 市営墓地 (5 か所) の管理運営

ひがしひろしま墓園を除く旧町から引き継いだ墓園 5 か所 (金口墓園、陰地墓園、中屋谷第 1 墓園、中屋谷第 2 墓園、下河内墓園) の維持管理等を行う。

(6) 特定地域生活排水処理事業特別会計への繰出金

(4,133 千円 (前年度 3,833 千円)) 【4 款 1 項 4 目】

① 特定地域生活排水処理施設の管理運営費への繰出金

市 (旧河内町) が設置した小型浄化槽を適切に維持管理するため、使用料収入では賄えない部分に対し、一般会計から繰出しを行う。

(7) 生活衛生事業の推進 (648 千円 (前年度 622 千円)) 【4 款 1 項 4 目】

① 生活衛生関係営業施設等に関する事務

内容

生活衛生営業六法関係施設、墓地、専用水道や簡易専用水道、特定建築物や化製場等に関する手続き等の事務を行うとともに、各施設への立入監視指導や報告聴取によって、適切な衛生管理が行われるよう指導を行う。

広島県からの権限移譲事務	登録数等
理容師法関係（理容所数）	149
美容師法関係（美容所数）	343
旅館業法関係（旅館営業所数）	43
公衆浴場法関係（公衆浴場数）	19
クリーニング業法関係（クリーニング所数）	59
興行場法関係（興行場営業施設数）	7
コインオペレーションクリーニング営業施設の衛生措置等指導要綱関係（コインランドリー営業所数）	49
水道法関係等（専用水道、簡易専用水道、小規模水道施設、小規模貯水槽水道数）	825
建築物における衛生的環境の確保に関する法律関係（特定建築物設置数）	55
温泉法関係（温泉数）	7
墓地、埋葬等に関する法律関係（墓地経営許可数）	8,428
浄化槽法関係（浄化槽設置数）	24,450
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律関係（有害物質を含有する家庭用品製造販売等の調査検体数）	6
化製場等に関する法律関係（化製場、死亡獣畜取扱場、動物飼養収容施設数）	2

（令和5年12月31日時点）

(8) 広島県水道広域連合企業団への負担金

（656,018千円（前年度75,851千円））【4款1項4目】

① 広島県水道広域連合企業団への負担金

本市及び広島県等、1県9市5町が水道事業等を共同で経営することを目的に設立した、広島県水道広域連合企業団の東広島事務所に対し、繰出基準等に基づき負担する。

(9) 清掃管理（667千円（前年度720千円））【4款2項1目】

廃棄物の処理及び清掃に係る許認可等事務、関係機関等との連絡調整等を行う。

(10) 広島中央環境衛生組合への負担金

（2,609,206千円（前年度1,876,691千円））【4款2項1目】

① 広島中央環境衛生組合の運営等経費への負担金

本市、竹原市及び大崎上島町の2市1町が一般廃棄物の広域処理を行うために設置した、広島中央環境衛生組合の運営費等を負担する。

(11) ひがしひろしま墓園の貸付、維持管理

（10,942千円（前年度10,900千円））【1款1項1目】

（ひがしひろしま墓園管理事業特別会計）

① ひがしひろしま墓園の管理運営

ひがしひろしま墓園の維持管理等を行う。

＜建設部＞

(1) 地籍調査事業（10,325 千円（前年度 12,268 千円））【6 款 1 項 5 目】

① 地籍調査の実施（うち 8,267 千円）

国土調査法等の関係法令に基づき、安芸津町木谷の一部で調査等を行う。

ア 地籍図原図及び地籍簿案の作成（0.04 ㎢）

イ 一筆地調査、一筆地測量等（0.09 ㎢）

【新】② 地籍調査支援システムの導入（うち 2,058 千円）

地籍調査業務の D X 化を進める。

(2) 土木総務事務（38,960 千円（前年度 25,079 千円））【8 款 1 項 1 目】

① 社会資本未来プランの策定

社会資本の総合的なプライオリティを明確化し、戦略的な投資とマネジメントの最適化を図る。

【新】② 建設 D X の推進（うち 1,545 千円）

ア 建設 D X プラン作成

イ ドローン等の機器の整備

③ その他経費（うち 37,415 千円）

会計年度任用職員の任用にかかる経費等。

(3) 土木施設管理事務（52,236 千円（前年度 51,801 千円））【8 款 2 項 1 目】

① 駅前広場等施設の維持管理（うち 27,619 千円）

西条駅等の自由通路及び駅前広場（10 か所）、公衆トイレ（7 か所）、及び吉行横断地下道の維持管理を行う。

② 駅前広場等施設の修繕（うち 3,098 千円）

自由通路及び駅前広場等を適切に維持するために必要な修繕を行う。

③ 道路・河川管理に係るデータ更新業務（うち 16,161 千円）

道路河川の入力データ作成、認定道路の台帳整理及び更新を行う。

④ 団地内生活道路市道編入測量費補助（うち 1,100 千円）

法規制前造成団地内道路の市道編入に必要な測量費等経費に対する補助を行う。

⑤ 道路河川維持作業（うち 2,772 千円）

ア 道路賠償責任保険

【新】イ 担い手不足解消検討

⑥ その他経費（うち 1,486 千円）

公共土木施設の管理に係る経費

(3) 駐車場管理運営事業（186,586 千円（前年度 163,300 千円））【8 款 2 項 1 目】

① 施設の管理運営（うち 107,882 千円）

市内の無料自転車駐車場（20 施設）の清掃、管理及び有料自転車駐車場（5 施設）・有料駐車場（9 施設）の管理を行う。

② 駐車場等の修繕（うち 4,770 千円）

内容

各駐車場の修繕を行う。

- ③ 駐車場施設の使用料（うち 61,184 千円）

西条岡町駐車場リース料。

- ④ 自転車駐車場敷地の借地料（うち 3,397 千円）

西条、白市、西高屋各駅前自転車駐車場（4 施設）の借地料。

【新】⑤ 駐車場・自転車駐車場の民間活用の検討

有料自転車駐車場（5 施設）・有料駐車場（9 施設）

- ⑥ 西条駅前第 1 自転車駐車場再生業務（うち 3,000 千円）

西条駅前第 1 自転車駐車場の再生の検討を行う。

- ⑦ 放置自転車等の撤去・保管（うち 5,338 千円）

市内の放置禁止区域内の放置自転車等及び自転車駐車場の長期放置自転車等の撤去や保管及び返還を行う。

- ⑧ その他経費（うち 1,015 千円）

駐車場管理等に必要な経費。

(4) 電源立地地域の対策（4,950 千円（前年度 4,588 千円））【8 款 2 項 2 目】

棕梨川水力発電所設置による減水区間地域の環境激変緩和のための対策を行う。

- ① 道路修繕に係る工事（うち 4,922 千円）

七の組循環線ほかの道路舗装修繕工事を行う。

<都市部>

(1) 開発指導事務の適正かつ効率的な実施

(7,585 千円(前年度 8,971 千円))【8 款 5 項 1 目】

- ① 都市計画法に基づく許可・検査及び指導を行う。

- ② 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく許可・検査及び指導を行う。

- ③ 国土利用計画法及び公有地の拡大の推進に関する法律の事務処理を行う。

- ④ 開発許可図面の電子化を行う。

(2) 安全・安心な憩いの場となる公園の維持

(628,420 千円（前年度 584,876 千円））【8 款 5 項 4 目】

安全・安心な憩いの場となる公園を維持するため、施設の管理や修繕および更新を行う。

- ① 東広島運動公園、憩いの森公園の指定管理（うち 265,764 千円）

- ② 樹木育成管理（うち 91,792 千円）

- ③ 清掃等管理（うち 170,457 千円）

- ④ 施設の修繕・更新（うち 96,070 千円）

(3) 市営住宅等の管理・運営

(117,663 千円（前年度 99,321 千円））【8 款 6 項 1 目】

- ① 施設の維持修繕（うち 79,878 千円）

内容

指定管理者制度を活用し、市営住宅の維持修繕を行う。

②市営住宅に係る経常経費（うち 15,700 千円）

市営住宅の土地賃借料及び光熱水費等

③住宅使用料等の滞納整理（うち 5,107 千円）

滞納家賃の督促及び臨戸訪問等により滞納整理を行う。

④入居者情報管理（うち 830 千円）

住宅システムの保守等に係る経費

⑤市営住宅の修繕（うち 6,214 千円）

市営住宅の家屋等小修繕料

⑥市営住宅からの移転補償金（うち 1,672 千円）

老朽化した市営住宅からの移転補償金

⑦その他事務（うち 8,262 千円）

市営住宅管理の必要経費（会計年度任用職員報酬、消耗品費、役務費等）

